

著 作 目 録

一 著 書

- 『近世漁村共同体の変遷過程—商品経済の進展と村落共同体—』 塙書房 1970年1月
- 『明治期における地主経営の展開—長野県岡谷・今井作内家を中心に—』 山川出版社 1974年3月
- 『柳田國男の農政学』 御茶の水書房 1976年7月
- 『近世漁村共同体の変遷過程—商品経済の進展と村落共同体—』（再版） 御茶の水書房 1977年11月
- 『柳田國男の共同体論—共同体論をめぐる思想的状況—』 御茶の水書房 1978年7月
- 『南部鼻曲り鮭』 日本経済評論社 1979年11月
- 『カール・マルクス著・笹原潮風訳「賃銀労働及び資本」について』 山形資本論研究会 1980年7月
- 『きき書き六万石の職人衆—相馬の社会史—』 刀水書房 1980年10月
- 『柳田國男—民俗学への模索—』 柏書房 1982年3月
- 『続・柳田國男—民俗学の周縁—』 柏書房 1983年2月
- 『もう一つの遠野物語』 刀水書房 1983年5月
- 『山形県の百年』 山川出版社 1985年8月
- 『論争する柳田國男—農政学から民俗学への視座—』 御茶の水書房 1985年12月
- 『村と土地の社会史—若干の事例による通時的考察—』 刀水書房 1989年4月
- 『柳田國男を読み直す』 世界思想社 1990年9月
- 『柳田民俗学と天皇制』 吉川弘文館 1992年12月
- 『東北開発—二〇年—』 刀水書房 1994年2月
- 『もう一つの遠野物語』〔追補版〕 刀水書房 1994年2月
- 『東北開発人物史—15人の先覚者たち—』 刀水書房 1998年3月
- 『歴史としての相馬—花は相馬に実は伊達に—』 刀水書房 2000年8月
- 『東北地域産業史—伝統文化を背景に—』 刀水書房 2002年3月
- 『東北開発—二〇年—（増補版）』 刀水書房 2009年3月
- 『本石米と仙台藩の経済』 大崎八幡宮 2009年10月

二 共 著

- 中村吉治・島田隆・矢木明夫・村長利根朗著『解体期封建農村の研究—諏訪藩今井村—』「資本主義の展開と地主制」（矢木明夫と共同執筆）「今井村家系譜」（島田隆と共編） 創文社

1962年3月

中村吉治教授還暦記念論集刊行会編『共同体の史的考察』「近世漁村の共同体の変遷—盛岡藩津軽石村の鮭留漁の漁業権をめぐる—」「古代共同体論のうち〈考古学的考察〉」日本評論社 1965年2月

村落社会研究会編『村落社会研究』第1集「むらの解体—商品経済の進展と村落共同体—」塙書房 1965年10月

中村吉治編『体系日本史叢書 社会史』I「縄文文化民の生活と社会」「弥生文化民の生活と社会」「氏姓社会」山川出版社 1965年10月

中村吉治編『体系日本史叢書 社会史』II「近代の家族と個人」「近代の権力機構」「資本家と賃労働者」山川出版社 1965年12月

中村吉治編『日本経済史』「原始経済」「古代経済」「資本主義成立期の商工業」山川出版社 1968年1月

中村吉治編『宮城県農民運動史』「明治前期宮城県の経済構造のうち〈資本主義の形成〉」「宮城県の資本主義のうち〈商工業と金融〉」「第一次世界大戦後の宮城県経済と地主制のうち〈商工業と金融〉」「農業恐慌と準戦時体制のうち〈商工業と金融〉」日本評論社 1968年3月

森嘉兵衛教授退官記念論文集刊行会編『社会経済史の諸問題』（合冊版）「近世後期東北地方における鉄取引についての一考察」法政大学出版局 1969年6月

森嘉兵衛教授退官記念論文集刊行会編『社会経済史の諸問題』（I）（分冊版）「近世後期東北地方における鉄取引についての一考察」法政大学出版局 1969年6月

山形県歴史教育者協議会・山形近代史研究会編『山形農民のたたかひの歴史』「延享四年の上山一揆について」山形県歴史教育者協議会 1969年8月

村落社会研究会編『村落社会研究』第7集「〈今井邨系図〉にみる近世農民の家」塙書房 1971年10月

高橋幸八郎編『日本近代化の研究』上巻「諏訪製糸同盟の成立期における活動」東京大学出版会 1972年1月

山崎教授還暦記念論文集刊行会編『山崎吉雄教授還暦記念論文集』「製糸業の進展と水利組織の変化」山崎教授還暦記念論文集刊行会 1972年2月

嶋田隆・矢木明夫編『歴史科学としての経済学』「原始共同体的生産様式」「古代的生産様式」「封建的生産様式」「自由主義の経済政策」山川出版社 1972年2月

村落社会研究会編『村落社会研究』第10集「戦前日本資本主義の農村把握のしくみについて—諏訪製糸同盟の活動を通じて—」塙書房 1974年10月

嶋田隆・矢木明夫編『日本経済史』「原始経済」「古代経済」「資本主義成立期の商工業」山川出版社 1978年4月

山形新聞社編『山形博物誌』「山寺（山形市）」山形新聞社 1978年11月

山形県民俗・歴史論集編集委員会編『山形県民俗・歴史論集』第2集「小作争議における耕作権

- 確保闘争についての一試論—土地所有の歴史的意味— 東北出版企画 1978年11月
- 村落社会研究会編『村落社会研究』第15集「農村自治と農民運動—山形県の事例から—」御茶の水書房 1979年10月
- 山形新聞社編『続山形博物誌』「月光川のサケ漁」山形新聞社 1979年11月
- 牧田茂編『評伝柳田國男』「農政学者」日本書籍株式会社 1979年7月
- 三上昭美編『日本古文書学講座』第10巻 近代編Ⅱ「社会関係文書—労働問題—」雄山閣 1980年7月
- 山形県民俗・歴史論集編集委員会編『山形県民俗・歴史論集』第3集「土地所有の歴史的意味再論」東北出版企画 1980年7月
- ふすま同窓会本部六十年祭実行委員会編『われらここに聚う』「岡本堅次先生のこと」ふすま同窓会本部六十年祭実行委員会 1980年10月
- 中村吉治編『宮城県農民運動史』（復刻版）「明治前期宮城県の経済構造のうち〈資本主義の形成〉」「宮城県の資本主義のうち〈商工業と金融〉」「第一次世界大戦後の宮城県経済と地主制のうち〈商工業と金融〉」「農業恐慌と準戦時体制のうち〈商工業と金融〉」国書刊行会 1982年7月
- 村落社会研究会編『村落社会研究』第18集「一九八一年度研究会報告と大会討議の要点」御茶の水書房 1982年10月
- 網野善彦編『日本民俗文化大系 6 漂泊と定着』「移住と開発の歴史—ムラ、の形成と変貌—」小学館 1984年3月
- 福島県教育委員会編『福島県浜通りの海事習俗』「海の交通のうち〈船問屋の活動〉〈東回り海運〉」福島県教育委員会 1984年3月
- NIRA編『雪国の未来社会を考える国際シンポジウム—雪国における新しいいきかたくらしかたの創造をめざして—』「Cコース 文化—農民芸能—黒川能、第四分科会〈雪国の地方文化〉報告」総合研究開発機構 1984年8月
- 山形県克雪研究会編『雪国・山形の風土と文化—外国人の見た雪国山形の印象記—』「第四分科会総括報告」山形県企画調整部 1984年12月
- 日本民話の会編『遠野の手帖』「遠野の河童」「森田元美さんのこと」国土社 1985年9月
- 村落社会研究会編『村落社会研究』第21集「戦前における農政と村落」御茶の水書房 1985年10月
- 大野公民館編『大野地区の伝説と昔話』「戊辰戦争と大坪」大野公民館 1986年3月
- 嶋田 隆・矢木明夫編『歴史科学としての経済学』〔新版〕「原始共同体的生産様式」「古代的生産様式」「封建的生産様式」山川出版社 1986年6月
- 山形新聞社編『やまがた歳時記』「鮭漁・火合わせの神事」山形新聞社 1986年11月
- 小林清治編『福島の研究』5 方言・民俗篇「相馬の職人—城下における職人町の名残り」と旅作法を中心として— 清文堂出版株式会社 1986年12月

- 村落社会研究会編『村落社会研究』第23集「本源的土地所有と“ムラ”の土地利用秩序」御茶の水書房 1987年9月
- 木戸田四郎教授退官記念論文集編集委員会編『近代日本社会発展史論』「北陸浄土真宗信徒移民の展開」ぺりかん社 1988年3月
- 東敏雄・丹野清秋編『近代日本社会発展史論』「北陸浄土真宗信徒移民の展開」ぺりかん社 1988年3月
- 山形県総務部生涯教育振興局編『より豊かに生きるために』「山形の風土—その特性を掘り下げる—」山形県総務部生涯教育振興局 1989年1月
- 金沢規雄・横井博・浅野晃編『奥の細道とみちのく文学の旅』「鶴が岡・酒田」「酒田から越後へ」里文出版 1989年8月
- 村落社会研究会編『村落社会研究』第25集〈現代農村の家と村落—農村社会編成の論理と展開 I—〉「史学・経済史学の研究動向」農山漁村文化協会 1989年9月
- 鳥越皓之編『民俗学を学ぶ人のために』「民俗学の限界」世界思想社 1989年12月
- 八戸市教育委員会編『伝統と未来—平成元年度八戸市民大学講座講演集—』「農政学者柳田國男と『遠野物語』」八戸市教育委員会 1990年3月
- 日本村落史講座編集委員会『日本村落史講座』7・生活Ⅱ・近世「漁業の発展と村落」雄山閣 1990年5月
- 島崎稔追悼文集刊行委員会編『回想・島崎稔』「一つの時代のきびしさ」時潮社 1991年5月
- 永原慶二・住谷一彦・鎌田浩編『家と家父長制』「労働組織としての家父長制家族—柳田・有賀におけるそのとらえ方—」早稲田大学出版部 1992年7月
- 村落社会研究会編『村落社会研究』第28集〈家族農業経営の危機—その国際比較—〉「史学・経済史学の研究動向」農山漁村文化協会 1992年10月
- 笹谷満教授遺稿集刊行委員会編『ボレラスの如く』「雷嫌いの雷オヤジ」笹谷満教授遺稿集刊行委員会 1994年5月
- 朝尾直弘・網野善彦・石井進・鹿野政直・早川庄八・安丸良夫編『岩波講座・日本通史』18巻 近代3「故郷・離郷・異郷」岩波書店 1994年7月
- 安孫子麟編『日本地主制と近代村落』「松ヶ岡開墾場における土地共有制」創風社 1994年10月
- 村落社会研究会編『村落社会研究』第30集〈家族農業経営の変革と継承〉「日本史学における村落研究—関係論の共同体論の展開—」農山漁村文化協会 1994年10月
- 播磨学研究所編『再考柳田國男』「論争する柳田國男と民俗学」神戸新聞総合出版センター 1994年12月
- 山形県生涯学習人材育成機構編『山形の人』1「山形の先人たち」池田成彬 山形県生涯学習人材育成機構 1994年12月
- 山形県生涯学習人材育成機構編『山形の人』2「本間光丘」「大熊信行」「三島通庸」山形県生涯学習人材育成機構 1994年12月

“The Development of Exchange of Commodities and the Transformation of the Fishing Village Community”. Kanoksak Kaewthep(ed.) *The Village Community in Historical Copmparison*. The Political Economy Centre, Faculty of Economics, Chulalongkorn University, January 1995

安田初雄・小林清治監修『福島県風土記』「相馬市一海と緑の城下町・民謡のふるさと一」「鹿島町一ゆとりと安らぎのある万葉の里一」「新地町一調和のとれた活力ある住みよい町一」旺文社 1995年11月

大島暁雄・松崎憲三・宮本袈娑雄・岩崎敏夫編『日本民俗調査報告書集成 北海道・東北の民俗 福島県編』「福島県の民俗」のうち「相馬市原釜（松川）」、「勿来地方の民俗」のうち「村の組織」「農業」「漁業」「商業」, 「西会津地方の民俗」のうち「村の組織」「交易」「宿場」三一書房 1995年11月

岩本由輝・大藤修編『家族と地域社会』「農村における家族と地域社会—既存のフレームワークの再検討のために—」早稲田大学出版部 1996年3月

長谷川善計・江守五夫・肥前栄一編『家・屋敷地と霊・呪術』「税（ウダツ）と沽券（コケン）」早稲田大学出版部 1996年3月

財団法人東北産業活性化センター編『東北新世紀—創造への挑戦—』「東北七地域の生成過程と二一世紀—新潟県と東北六県の一体性についての歴史的考察—」日本地域社会研究所 1996年4月

“Village and Family for Kunio Yanagita”. Chatthip Nartsupha(ed.) *History of the Village Community in Japan*. The Political Economy Centre, Faculty of Economics, Chulalongkorn University, April 1996

石内徹編『柳田国男『遠野物語』作品論集成』Ⅱ「農政学者—民俗学への推進—」「『遠野物語』の舞台裏」「外からの東北像」「遠野の河童」大空社 1996年6月

石内徹編『柳田国男『遠野物語』作品論集成』Ⅲ「補訂・柳田国男の紀行文芸をめぐって—『グリムの昔話』における書き替えの問題を含めて—」（上）「補訂・柳田国男の紀行文芸をめぐって—『グリムの昔話』における書き替えの問題を含めて—」（下）「農政学者柳田国男と『遠野物語』」大空社 1996年6月

石内徹編『柳田国男『遠野物語』作品論集成』Ⅳ「サムトの婆をめぐって」「『サムトの婆』再考—『遠野物語』初稿考察の一環として—」「『遠野物語』をめぐる柳田国男と佐々木喜善」「『遠野物語』初稿を読んで（一）—第一話から第二六話まで—」「『遠野物語』初稿を読んで（二）—第二七話から第五三話まで—」「『遠野物語』初稿を読んで（三）—第五四話から第七三話まで—」「サムトの婆々と佐々木喜善」大空社 1996年6月

宮田登編『談合と贈与』「ムラの談合—談合の民俗—」小学館 1997年3月

岩本由輝・国方敬司編『家と共同体—日欧比較の視点から—』「柳田国男の共同体論」「商品経済の進展と漁村共同体の変遷」法政大学出版局 1997年3月

- 赤田光男・香月洋一郎・小松一彦・野本寛一・福田アジオ編『講座 日本の民俗学5・生業の民俗』「サケ」 雄山閣出版株式会社 1997年10月
- “Foreword”, *Proceedings of the 3rd Thai-Japanese Seminar, 29-30 October, 1994 at Tono Museum, Tono, Iwate, Japan* (ed.) Organizing Committee of the 3rd Thai-Japanese Seminar, Tohoku Gakuin University. January 1998.
- 東敏雄先生退官記念論文集編集委員会編『地域社会の歴史と構造』「ある村の経済更生運動の栄光と挫折—福島県伊達郡石戸村の事例—」 御茶の水書房 1998年3月
- 丹野清秋編『地域社会の歴史と構造』「ある村の経済更生運動の栄光と挫折—福島県伊達郡石戸村の事例—」 御茶の水書房 1998年3月
- 山形県生涯学習人材育成機構編『山形県の先達者』1 「三浦新七」「原田好太郎」 山形県生涯学習人材育成機構 1998年3月
- 山形県生涯学習人材育成機構編『山形県の先達者』2 「斎藤外市」 山形県生涯学習人材育成機構 1998年3月
- 東北学院大学史学科編『歴史のなかの東北—日本の東北・アジアの東北—』「東北開発を考える—内からの開発・外からの開発—」 河出書房新社 1998年4月
- 東北大学大学院情報科学研究科人間社会情報科学専攻社会構造変動論研究室編『報告集 シンポジウム 東アジア社会の構造と変動—伝統・変革・課題—』「日本農民の家と産業発展—国際比較の視点から—」 東北大学大学院情報科学研究科人間社会情報科学専攻社会構造変動論研究室 1998年5月
- 高槻博追悼集刊行委員会編『瞬（またたき）—高槻博追悼集—』「高槻博さんのこと」 高槻博追悼集刊行委員会 1998年10月
- 中村勝編『市と糶』「タイは市場のなかにある—私の採訪ノートから—」 中央印刷出版部 1999年8月
- 東北地区私立大学就職問題協議会編『東北地区私立大学就職問題協議会20年のあゆみ』「東北発展の原点—人材こそ財—」 東北地区私立大学就職問題協議会 2000年3月
- 北川隆吉編『有賀喜左衛門研究—社会学の思想・理論・方法—』「有賀喜左衛門と柳田国男」 東信堂 2000年10月
- 野馬追の里原町市立博物館編『相馬の鋳物師—かなものの歴史と技術—』「前近代における鉄と相馬—生産された鉄と輸入された鉄—」 野馬追の里原町市立博物館 2001年3月
- 21世紀東北地域経済産業政策のあり方検討室編『21世紀東北地域経済産業政策のあり方に関する調査報告書』「東北地域の経済産業政策史」 経済産業省東北経済産業局 2001年3月
- 佐々木潤之助編『日本家族史論集』第1巻・家族史の方法「労働組織としての家父長制家族—柳田・有賀におけるそのとらえ方—」 吉川弘文館 2002年5月
- 楊棟梁・巖紹縈・趙徳宇・劉雨珍編『変動期的東亜社会與文化』「作為—国民俗学的日本民俗学—以柳田国男與亞洲關係為例—（喬林生訳・劉雨珍校）」 天津人民出版社 2002年8月

- ‘Introduction:The THAI-JAPANESE SEMINAR’, ‘An Approach to Village Studies in Japan with Tohoku Region’, Akira Nozaki and Chris Baker(eds), *Village Communities, States, and Traders: Essays in honor of Chatthip Nartsupha*, Thai-Japanese Seminar and Agangsan Publishing House, Jan.2003
- 永原慶二・住谷一彦・鎌田浩編『家と家父長制』〔新装版〕「労働組織としての家父長制家族—柳田・有賀におけるそのとらえ方—」早稲田大学出版部 2003年7月
- 大石直正・難波信雄編『平泉と奥州道中』「地域経済の変貌」吉川弘文館 2003年8月
- 岩本由輝・大藤修編『家族と地域社会』〔新装版〕「農村における家族と地域社会—既存のフレームワークの再検討のために—」早稲田大学出版部 2004年3月
- 赤坂憲雄・菊地和博編『東北学』「近代『東北』の中央からの『開発』史」京都造形芸術大学 2004年4月
- 京都造形芸術大学編『東北学への招待』「近代『東北』の中央からの『開発』史」角川書店 2004年5月
- 日本村落研究会編『村落社会研究』第41集〈消費される農村—ポスト生産主義下の「新たな農村問題」—〉「史学・経済史学の研究動向」農山漁村文化協会 2005年11月
- 近畿大学日本文化研究所編『日本文化の諸相—その継承と創造—』「家存統戦略としての養子・婿養子」風媒社 2006年3月
- 長谷川善計・江守五夫・肥前栄一編『家・屋敷地と霊・呪術』〔新装版〕「税（ウダツ）と沽券（コケン）」早稲田大学出版部 2006年5月
- 諏訪春雄編『非婚・崩壊・少子化—どこへ行く日本の家族—』「地域のなかの家族」勉誠出版 2006年8月
- 東北学院資料室運営委員会「大正デモクラシーと東北学院」調査委員会編『大正デモクラシーと東北学院—杉山元治郎と鈴木義男—』「杉山元治郎」学校法人東北学院 2006年10月
- 今谷明・大濱徹也・尾形勇・樺山紘一・木畑洋一編『20世紀の歴史家たち』第5巻 日本編（続）「中村吉治」刀水書房 2006年12月
- 日本村落研究学会編・池上甲一責任編集『むらの資源を研究する—フィールドからの思想—』「漁村における共同体」農山漁村文化協会 2007年3月
- 北山郁子編・岩本由輝解題『不敗の農民運動家矢後嘉蔵—生涯と事績—』「矢後嘉蔵の土着の思想と『永小作権』」刀水書房 2008年7月
- 石井正巳・遠野物語研究所編『遠野物語と21世紀—近代日本への挑戦—』「米山俊直・加藤秀俊『北上の文化』」「谷川健一『原風土の相貌』」三弥井書店 2009年6月
- 國方敬司・長谷部弘・永野由紀子編『家の存統戦略と婚姻』「近世大名における家存統戦略—出羽久保田藩佐竹氏と陸奥中村藩相馬氏との重縁関係にみる—」刀水書房 2009年10月
- 土生慶子編『東北電力界功労者の一人太田千之助の資料集』「発刊に寄せて—太田千之助のことども—」南北社 2010年6月

三 自治体史および社史・業界史など

日本電信電話公社東北通信局編『東北の電信電話史』「緒言」「前史—電信の夜明け—」「明治前期—創業より日清戦争のころまで」「明治後期—日清戦争後から明治の終りまで」電気通信
共済会東北支部 1967年1月

福島県編『福島県史』第24巻 民俗2「福島県の民俗—相馬市原釜（松川）」福島県 1967年3
月

いわき市史編さん委員会編『いわき市史』第7巻 民俗「漁業」福島県いわき市 1972年2月
山形市市史編さん委員会・山形市市史編集委員会編『山形市史』下巻「郵便・電信・電話の開設」「私
設鉄道誘致の動き」「産業革命の進展と商都山形」「近代産業の振興」山形市 1975年2月

山形県編『山形県史』本篇5 商工業編「殖産興業の展開」「鉱山開発」「通信（郵便・電信・電
話）の普及」「電気事業の伸張」「鉱山業の展開」「工業の集中と統制」「商業統制」「軍需産
業の展開」山形県 1975年3月

相馬市史編纂会編『相馬市史』第3巻 民俗・人物編「商業・交通・運輸」「諸職」福島県相馬
市 1975年3月

福島県相馬郡小高町教育委員会編『小高町史』「商業・交通・運輸」「諸職」福島県相馬郡小高
町 1975年10月

飯舘村史編纂委員会編『飯舘村史』第3巻 民俗「商業・交通・運輸」「諸職」福島県相馬郡飯
舘村 1976年2月

岩手町史編纂委員会編『岩手町史』「江戸時代の岩手町」「山形地区の民間信仰の状況」「民俗の
うち〈衣食住〉〈冠婚葬祭〉〈社交〉〈年中行事〉」「昔話と伝説」岩手県岩手郡岩手町 1976
年3月

福島県相馬高等学校創立八十周年記念事業実行委員会編『相中・相高八十年』「私の相高三年間」
福島県立相馬高等学校創立八十周年記念事業実行委員会 1987年5月

相馬市史編纂会編『相馬市史』第2巻 論考下「近世後期東北地方における鉄取引について」「相
馬地方の耕地整理について」「福島県相馬郡大野村村是について」福島県相馬市 1978年12
月

飯舘村史編纂委員会編『飯舘村史』第1巻 通史「近現代（ただし〈教育〉を除く）」「附『資料・
郷土誌』解題」福島県相馬郡飯舘村 1979年12月

山形市市史編さん委員会・山形市市史編集委員会編『山形市史』近現代編「市の社会事業」「東
北振興と農山漁村経済更生運動」山形市 1980年3月

山形市市史編さん委員会・山形市市史編集委員会編『山形市史』現代編「地方自治体の合併」「産
業経済の発展」「市街化調整区域の設定」山形市 1981年3月

山形県労働組合評議会編『山形県労評三十年史』「山形県労評成立前史」「県労評の成立と急速な

前進「県労評活動の本格的展開」「引き続き反合理化闘争」 第一書林 1983年12月
 大熊町史編纂委員会編『大熊町史』第1巻 通史「自治」「水産業のうち〈鮭の生態〉〈熊川の鮭
 漁の歴史〉〈鮭資源の保護〉」「電力」 福島県双葉郡大熊町 1985年3月
 白い国の詩編『東北の電気物語』『山形県の電気事業史』『国家統制時代の電気事業史』 東北電
 力株式会社 1988年7月
 山形県建設業協会編『郷土を築いて四十年 ―山形県建設業協会の歩み―』 山形県建設業協会
 1989年10月
 山形県建設業協会編『山形県建設百二十年史』 山形県建設業協会 1989年10月
 仙台市史編さん委員会編『仙台市史』特別編4 市民生活「勤工場・呉服店・デパート」「卸売
 市場と公設小売市場」「屋台」「生活環境の都市化」「ごみとし尿」「人力車と集合馬車」「木
 道と鉄道」「土族の生業とその授産」「職人・職工・労働者」「職種の多様化」「行商」「仲間
 と組合」「小作人と農民組合」「自作農と村づくり」「勤労奉仕からボランティアへ」 仙台市
 1997年3月
 仙台市史編さん委員会編『仙台市史』特別編6 民俗「町の構成」「仙台の地名」「都市仙台にお
 ける商業」「あとがき」 仙台市 1998年3月
 「東北新世紀」編集事務局編『東北新世紀―東北電力創立50周年記念―』「第1部クロニクル1945
 -1984」(塩野米松と共同監修) 東北電力株式会社 2001年9月
 南相馬市教育委員会小高区地域教育課編『おだかの人物』おだかの歴史 特別編1 人物編「社
 会運動家 杉山元治郎」 南相馬市 2006年3月
 仙台市史編さん委員会編『仙台市史』通史編6 近代1「市営事業の展開―衛生・病院事業、上
 下水道事業、電気事業・ガス事業、都市化と環境関係事業―」「市民と経済―日本鉄道の開
 通と市街の変化、街の工場と商店、銀行と各種金融機関、商工関係の諸団体と諸組合、仙台
 煙草製造所と片倉組仙台製糸所―」 仙台市 2008年3月
 仙台市史編さん委員会編『仙台市史』通史編7 近代2「産業と経済のうち〈商工業の展開〉〈軽
 工業の展開〉」「社会事業のうち〈国民健康保険〉」「産業経済の変化のうち〈東北振興運動〉」
 「恐慌と産業経済のうち〈恐慌と銀行再編〉」「民衆運動のうち〈米騒動〉〈民衆運動の発展〉」
 〈思想・民衆運動弾圧の強化〉〈戦争と民衆運動〉(〈米騒動〉以外は難波信雄と共同執筆)」
 仙台市 2009年3月
 仙台市史編さん委員会編『仙台市史』通史編8 現代1「公益事業―鉄道、郵政・電信・電話・
 専売、電気事業の再編と仙台―」「諸産業と金融のうち〈農地改革〉〈商工業(ただし鉱業を
 除く)〉」 仙台市 2011年5月

四 史料・資料編纂

福島県編『福島県史』第9巻 近世資料2「文化七年・十年南部鉄買上げ代運漕料」 福島県

1965年12月

- 「諏訪郡今井村家系譜」(1)～(18)〈島田隆と共編〉『月報社会史』第1巻第1号～第2巻第6号
東北大学経済学部日本経済史研究室 1966年4月～1967年9月
- 「盛岡藩津軽石村漁業関係史料」(1)～(9)『月報・社会史研究』第2巻第7号～『季刊社会史研究』
第3巻第3号 東北大学経済学部日本経済史研究室 1967年10月～1968年10月
- 相馬市史編纂会編『相馬市史』第4巻 奥相志 福島県相馬市 1969年3月
- 『諏訪製糸同盟「交渉録」「取調筆記」』上・中・下 東北大学経済学部経済史研究室 1969年3
月～1970年3月
- 『自文化元年至天保六年南部野田鉄買入に関する仕切および目録』相馬郷土研究会 1969年4
月
- 相馬市史編纂会編『相馬市史』第5巻 資料編2 史書類ほか 福島県相馬市 1971年12月
- 『福島県相馬郡大野村是』相馬郷土研究会 1975年12月
- 相馬市史編纂会編『相馬市史』第6巻 資料編3 史書・文化財 福島県相馬市 1976年3月
- 飯館村史編纂委員会編『飯館村史』第2巻 資料「近現代のうち〈政治〉〈土地〉〈産業経済〉〈開
発・移住〉〈社会〉」福島県相馬郡飯館村 1977年2月
- 「真野村・上真野村是」『草原』第2号 鹿島町文化協会 1979年3月
- 山形市市史編さん委員会・山形市市史編集委員会編『山形市史』資料編4 市・村合併資料「大
曾根・山寺村の編入合併」山形市 1979年3月
- 「出羽村農村調査資料（大正三年）・出羽村経済更生計画書（昭和八年）ほか」『山形市史資料』
第62号 山形市 1981年9月
- 「復刻山形県社会運動史」『季刊・場』1981冬 ぐるうぶ場 1982年2月
- 持館泰校訂『吉田屋源兵衛覚日記』第1冊，第2冊の1・2，第3冊の1・2，第4冊の1・2，
第5冊の1・2，第6冊の1・2，第7冊の1・2，第8冊の1・2・3，第9冊の1・2・
3 解題（続刊中）～ 相馬郷土研究会 1984年11月～（続刊中）
- 鹿島町史編纂委員会編『鹿島町史』第5巻 近現代資料 福島県相馬郡鹿島町 1992年3月
- 福島県立相馬高等学校創立百周年記念事業編集委員会編『相中相高百年史』「資料編のうち〈(1)
相馬中学校の中村町設置が決定するまで〉〈(2)初代校長自殺事件記事〉〈(3)戦時体制下の学徒
動員〉」福島県立相馬高等学校創立百周年記念事業委員会 1998年7月
- 仙台市史編さん委員会編『仙台市史』資料編5 近代現代1 交通建設「道路規制から交通規制
へ」「日本鉄道会社と国有鉄道」仙台市 1999年3月
- 仙台市史編さん委員会編『仙台市史』資料編6 近代現代2 産業経済「金融」仙台市 2001
年9月
- 仙台市史編さん委員会編『仙台市史』資料編7 近代現代3 社会生活「仙台空襲の記録」仙
台市 2004年3月
- 奈良女子大学人間文化研究科「南方熊楠の学際的研究」プロジェクト編『南方熊楠に学ぶ』「新

出資料紹介：佐々木喜善の南方熊楠宛書簡」（横山茂雄と共同翻字） 研究代表者横山茂雄
2004年3月

仙台市史編さん委員会編『仙台市史』資料編8 近代現代4 政治・行政・財政「戦前の労働運動・農民運動・社会運動」 仙台市2006年3月

東北学院史研究会編『平成20年度教育・学習方法等改善支援事業報告書』（杉山元治郎・鈴木義男の事績を通して見る東北学院の建学の精神〈研究代表者岩本由輝〉）「翻刻：杉山元治郎の受講ノート〈『神学緒論』院長ディヴィッド・ボーマン・シュネーダー担当，ただしシュネーダー賜暇帰米のため冒頭以外は教授笹尾条太郎担当〉〈『倫理学』教授アレン・リライン・ファウスト担当〉〈『弁証学・基督教起源論・唯物論』教授アレン・リライン・ファウスト担当〉〈『哲学史』教授出村悌三郎担当〉」 「翻刻：'Collect of Solomon'Vol.1〈杉山元治郎の東六番丁教会牧師就任時の説教集〉」 学校法人東北学院 2009年3月

東北学院史研究会編『平成21年度教育・学習方法等改善支援事業報告書』（創業者の事績を通して見る東北学院の建学の精神〈研究代表者仁昌寺正一〉）「翻刻：木下彰の受講ノート〈『行政法学総論』東北帝国大学法文学部教授鈴木義男担当〉」 「翻刻：杉山元治郎の受講ノート〈『心理学』教授出村悌三郎担当〉」 学校法人東北学院 2010年3月

東北学院史研究会編『平成22年度日本私立学校振興・共済事業団学術研究資金助成研究報告書』（キリスト教教育と近代日本の知識人形成—東北学院を事例として—〈研究代表者仁昌寺正一〉）「翻刻：杉山元治郎の受講ノート〈『世界宗教史』教授笹尾条太郎担当〉」 学校法人東北学院 2011年3月

東北学院資料室運営委員会編『野澤正「東北学院労働会歴史」』 「翻刻・注・解題」（『東北学院資料室』Vol.10別冊） 学校法人東北学院 2011年4月

五 論 文

「明治初年の村方騒動—諏訪郡今井村—」『東北大学研究年報 経済学』第25巻第2号 1963年10月

「相馬市原釜（松川）」福島県教育委員会編『福島県の民俗—民俗資料緊急調査報告書—』 福島県教育委員会 1964年3月

「明治期における今井作内家の手作地経営—雇用労働の問題を中心に—」『東北大学研究年報 経済学』第26巻第2号 1964年11月

「技術の進歩と文化遺産の保存」『柴田農高新聞』第41号 宮城県立柴田農林高等学校 1965年7月

「家紋の変質」『衣服文化』第94号 文化服装学院出版局 1965年8月

「曲り角をまがった日本農業」『柴田農高新聞』第45号 1965年12月

「明治期における今井四郎左衛門家の農業経営」『東北大学研究年報 経済学』第27巻第3・4

- 合冊号 1966年3月
- 「南部野田鉄取引小考」『磐城民俗研究会会報』第4号 1966年3月
- 「村の組織・農業・漁業・商業」福島県教育委員会編『勿来地方の民俗—新産業都市指定地区民俗資料調査報告書一』福島県教育委員会 1966年3月
- 「私と読書」『図書館報』第1号 宮城県立柴田農林高校図書委員会 1966年3月
- 「近世後期における分家の諸形態—盛岡藩津軽石村盛合家の例を中心に—」『東北民俗』第1輯 東北民俗の会 1966年6月
- 「三日正月のこと」『月報・社会史研究』第1巻第4号 東北大学経済学部日本経済史研究室 1966年7月
- 「仙南製糸業研究余滴」『柴田農高新聞』第46号 1966年7月
- 「農業経営の転換期とプラス・アルファ・ターン」『柴田農高新聞』第47号 1966年12月
- 「宮城県における蚕糸改良運動の展開—明治前半期を中心として—」『東北大学研究年報 経済学』第28巻第2号 1966年12月
- 「もちつき雑感」『望峰』第10号 宮城県立柴田農林高等学校生徒会 1967年3月
- 「近世前中期の三陸地方における市の変遷」『東北民俗』第2輯 東北民俗の会 1967年5月
- 「柴田郡立農業講習所のこと」『柴田農高新聞』第48号 1967年7月
- 「九面における漁業」『磐城民俗研究会会報』第5号 1967年8月
- 「近世前期の漁村共同体と商品経済」『山形大学紀要 社会科学』第3巻第1号 1968年1月
- 「近世中期の盛岡藩における特権商人の推移とその基盤—盛岡藩吉里吉里村前川家を中心に—」『東北大学研究年報 経済学』第29巻第1・2合冊号 1968年3月
- 「伝説に及ぼす社会情勢の変化—『民衆の英雄』の現代的意味—」『河北新報』1968年6月5日号
- 「明治期における今井作内家の家計」『東北大学研究年報 経済学』第29巻第3・4合冊号 1968年6月
- 「大網の年中行事」『季刊・社会史研究』第3巻第3号 東北大学経済学部日本経済史研究室 1968年10月
- 「延享四年の上山一揆について」『歴史の研究』第13号 山形歴史学会 1968年12月
- 「明治二〇年代における岩手県漁業の状況」『山形大学紀要 社会科学』第3巻第2号 1969年1月
- 「大網探訪録」『季刊・社会史研究』第3巻第4号 東北大学経済学部日本経済史研究室 1969年1月
- 「村の組織・交易・宿場」福島県教育委員会編『西会津地方の民俗—振興山村指定地区民俗資料調査報告書一』福島県教育委員会 1969年3月
- 「伝説におよぼす社会情勢の変化」『東北民俗』第4輯 東北民俗の会 1969年5月
- 「滅びゆく民俗の記録—山形県湯殿山ろくの大網部落—」『河北新報』1969年6月9日号

- 「『もがり』考」『もがり』第2号 もがり同人 1969年8月
- 「私のルング・ワンダリングー 一つの読書のすすめ」『人文ニュース』第15号 山形大学人文
学部 1970年2月
- 「『むら』での調査おぼえがき」『研究通信』第65号 村落社会研究会 1970年2月
- 「諏訪製糸業地帯における労働者登録制度」『東北大学研究年報 経済学』第31巻第4号 1970
年7月
- 「一九六五年以降の共同体研究の動向」『共同体の史的考察』（第2刷付録）日本評論社 1970
年8月
- 「職人・職工・労働者—読書のすすめの一つとして—」『人文ニュース』第2巻第9号 山形大
学人文学部 1970年10月
- 「村落研究についての一つの提言」『研究通信』第74号 村落社会研究会 1970年12月
- 「諏訪製糸業における賃金計算基準」『山形大学紀要 社会科学』第3巻第4号 1971年1月
- 「明治末年における諏訪製糸同盟の活動」『東北大学研究年報 経済学』第32巻第1号 1971年
9月
- 「松ヶ岡開墾場における士族授産事業の展開」『歴史の研究』第14号 山形歴史学会 1972年1
月
- 「本と学問—杉本栄一氏による経済学史の三類型—」『せいきょう』第40号 山形大学生協同
組合組織部 1972年7月
- 「郷土について」『相馬史学会 会報』第24号 1973年3月
- 「人文学部—無用の効用・学部紹介をかねて—」『学園だより』第30号 山形大学 1973年4月
- 「柳田國男における日本の都市理念」『社会科学の方法』第4巻第3号 御茶の水書房 1973年
4月
- 「共通課題の論議を推進するために」『研究通信』第85号 村落社会研究会 1973年4月
- 「再び共通課題の論議を推進するために」『研究通信』第86号 村落社会研究会 1973年5月
- 「貨幣発生前史—飛鳥の檀家制度から—」『やまがた労働たより』第26巻第7号 山形県商工労
働部労政課 1973年7月
- 「八百屋のある村」『やまがた散歩』第12号 やまがた散歩社 1973年10月
- 「わたしの研究・わたしの郷土—産業の変遷—」『朝日新聞』地方総合版 1973年12月2日号
- 「史料の採訪と保管—大学における研究者の立場—」『学園だより』第31号 山形大学 1974年
1月
- 「柳田國男の農政学」(1)~(3)『山形大学紀要 社会科学』第5巻第1号~第6巻第1号 1974年
10月~1975年7月
- 「神のいない祭り—崩壊する共同体—」『山形新聞』1974年10月3日号
- 「モリノヤマと祖霊」上・下『山形新聞』1974年10月14日号, 15日号
- 「アメリカの米」『山形新聞』1974年10月23日号

- 「シアトルのバス」『山形新聞』 1974年11月6日号
- 「アメリカ版カセドリ」『山形新聞』 1974年11月23日号
- 「シアトルからの手紙」(1)～(2)『人文ニュース』 第6巻第4号～第5号 山形大学人文学部
1974年11月～12月
- 「米国の物価と暮らし」『山形新聞』 1974年12月23日号
- 「ワシントン大学について」『人文学部 家庭通信』 山形大学人文学部後援会 1975年1月
- 「ワシントン大学の日本研究」『河北新報』 1975年2月1日号
- 「アメリカ・ひとり旅」『山形新聞』 1975年2月26日号
- 「コンピューター史学」『山形新聞』 1975年3月20日号
- 「アメリカの日本史研究」①～⑤『河北新報』 1975年4月26日, 29日, 5月10日・13日・17日
号
- 「ワシントン大学における日本語教育」『人文ニュース』 第7巻第1号 山形大学人文学部
1975年4月
- 「柳田國男の農政学—早すぎた登場・遅すぎた評価—」『山形新聞』 1975年5月20日号
- 「共同体幻想」『山形新聞』 1975年6月30日号
- 「海の向うで日本をみれば……」『人文学部 家庭通信』 山形大学人文学部後援会 1975年6月
- 「アメリカの年中行事—ハローウィンとサンクス・ギビング・デーとクリスマス」『磐城民俗』
第13号 磐城民俗研究会 1975年6月
- 「ワシントン大学」『社会科学の方法』 第8巻第8号 御茶の水書房 1975年8月
- 「資本主義下の農業の特質と結びつく家族経営・労働組織としての農民家族—現段階におけるそ
の破壊と新しい農民家族の形成—」『研究通信』 第98号 村落社会研究会 1975年9月
- 「柳田國男の共同体論」『社会科学の方法』 第8巻第10号 御茶の水書房 1975年10月
- 「新版手作り農業」『山形新聞』 1975年10月14日号
- 「わたし作る人 ぼく食べる人」『山形新聞』 1975年10月25日号
- 「柳田國男と山形」(上・下)『山形新聞』 1975年10月30日, 11月8日号
- 「マイカー家族」『山形新聞』 1975年12月25日号
- 「ある入会の終焉」『山形新聞』 1976年1月8日号
- 「柳田國男の共同体観の形成」『磐城民俗』 第14号 磐城民俗研究会 1976年3月
- 「アメリカの大学図書館と日本研究」『中央図書館—山形大学附属図書館報—』 第15号 山形大
学附属図書館 1976年3月
- 「県農民運動の足あと」(1)～(293)『やまがた散歩』 第44号～第339号 やまがた散歩社
1976年6月～2000年1月
- 「対抗する官・民経済学と日本資本主義」(高木郁朗と共同執筆)『流動』 第8巻第7号 1976年
7月
- 「山寺—山形市—」『山形新聞』 1976年7月1日号

- 「埋もれていた本邦初訳—賃労働と資本—」(上・下)『山形新聞』 1976年10月14日, 16日号
- 「モリノヤマ—鶴岡市—」『山形新聞』 1976年11月4日号
- 「柳田國男と福島県の産業組合」『磐城民俗』第15号 磐城民俗研究会 1976年12月
- 「埋もれていた本邦初訳—明治四二年笹原潮風訳『賃労働と資本』—」『経済評論』第25巻第14号 日本評論社 1976年12月
- 「商品、と貨物、」『社会科学の方法』第9巻第1号 御茶の水書房 1977年1月
- 「柳田國男の共同体認識—ムラ、とイエ、の把握をめぐって—」『伝統と現代』第43号 伝統と現代社 1977年1月
- 「柳田國男の産馬政策論」『山形大学紀要 社会科学』第7巻第2号 1977年2月
- 「地域主義の落とし穴」『経済セミナー』第265号 日本評論社 1977年2月
- 「国民経済の要請、にあえぐ日本農業」『労働経済旬報』第1023号 労働経済社 1977年2月
- 「柳田國男の読み方」『学園だより』第38号 山形大学 1977年4月
- 「人文学部と学際的研究の試み—柳田國男を通じての日本社会の学際的研究—」『進研ニュース』第32号 福武書店 1977年4月
- 「地域主義について—杉岡碩夫氏の反論に答える—」『経済セミナー』第269号 日本評論社 1977年6月
- 「1900年代における山形県村山地方中農の所有農具について」『山形大学附属郷土博物館報』第4号 山形大学附属郷土博物館 1977年7月
- 「都市と農村—歴史の流れの中で—」『山形新聞』 1977年10月4日号
- 「地域史への提言—研究と教育—」その6 『歴史公論』第3巻第11号 雄山閣 1977年11月
- 「むら、の歴史」(1)~(4) 『新しい村づくり』第1巻第5号~8号 全国土地改良事業団体連合会 1978年1~9月
- 「小説のモデルとしての柳田國男」『磐城民俗』第17号 磐城民俗研究会 1978年2月
- 「私と相馬」(1)~(5)『相馬通信』第5~20号 スミノ印刷 1978年5月~1984年10月
- 「地域史への提言—研究と教育—」その13 地域研究にあたり考えるべきことは『歴史公論』第4巻第6号 雄山閣 1978年6月
- 「一九一〇年前後における小作料金納化の是非をめぐる論争について—柳田國男・小林丑三郎・田中穂積・横井時敬・桑田熊蔵—」『山形大学紀要 社会科学』第9巻第1号 1978年7月
- 「柳田國男—農政学から民俗学へ—」『評論—経済と金融—』第20号 日本経済評論社 1978年11月
- 「小説のモデルとしての柳田國男」『社会科学の方法』第11巻第12号 御茶の水書房 1978年12月
- 「山びこ学校、のその後—時代の波に流される—」『教育の森』第4巻第1号 毎日新聞社 1979年1月
- 「地域史への提言—研究と教育—」その20 共同体の歴史的な性格を再論する『歴史公論』第5

- 卷第1号 雄山閣 1979年1月
- 「柳田國男『聳入考』と柳井統子『父』—小説のモデルとしての柳田國男—」『磐城民俗』第19号 磐城民俗研究会 1979年1月
- 「月光川のサケ漁—遊佐町—」『山形新聞』 1979年1月9日号
- 「福島県伊達郡靈山町調査」(調査報告) 農政調査委員会編『農村集落構造分析報告書(昭和53年度)』 農政調査委員会 1979年3月
- 「泉 鏡花『湯島詣』と柳田國男—小説のモデルとしての柳田國男—」『東北民俗』第13輯 東北民俗の会 1979年5月
- 「私の天皇制体験—今後をうたがう—」『信州白樺』第33号 信州白樺 1979年5月
- 「歴史の中での高齢者問題」(上・下)『山形新聞』 1979年8月23日, 24日号
- 「高度成長期以前の山形県の製造業」『商工情報』第5巻第11号 山形県商工情報センター 1979年9月
- 「日本の民芸—その根なし草的性格—」『場』第3巻第4号 場出版局 1979年9月
- 「常民の世界—『遠野物語』の描いたもの—」『山形新聞』夕刊 1979年9月26日号
- 「続高度成長期以前の山形県の製造業」『商工情報』第5巻第13号 山形県商工情報センター 1979年10月
- 「能力主義的平等主義の意味—熊沢・高木論争によせて—」『労働問題』第266号 日本評論社 1979年10月
- 「第三回山形大学公開講座『社会科学と人間』について」『学園だより』第43号 山形大学 1979年11月
- 「私にとっての専門」『経済ゼミナール協議会機関紙』第5号 山形大学人文学部経済ゼミナール協議会機関紙編集局 1979年11月
- 「ハメエバの由来」『羽黒根』第15号 相馬市立大野小学校PTA 1979年11月
- 「日本—地主の転身 上(本間家の経営哲学とその展開)・下(華麗なる一族、にみる戦後)」『エコノミスト』第57巻第45, 46号 毎日新聞社 1979年11月6日, 13日号
- 「共同体論争をめぐって」『経済評論』第28巻第12号 日本評論社 1979年12月
- 「ある共同体肯定論者の走狗性について」『西南地域史研究』第3輯 文献出版 1980年1月
- 「柳田國男の最初の論争—西垣恒矩・有働良夫—」『山形大学紀要 社会科学』第10巻第2号 1980年1月
- 「『遠野物語』の描いたもの」(1)~(12)『場』第3巻第7号~第4巻第1号 場出版局 1980年1月~1981年3月
- 「福島県伊達郡靈山町調査」(調査報告) 農政調査委員会編『農村集落構造分析報告書』(昭和54年度) 農政調査委員会 1980年3月
- 「柳田國男の山形での講演」『中央図書館—山形大学附属図書館報—』第19号 山形大学附属図書館 1980年3月

- 「島崎藤村『椰子の実』と柳田國男『北へ』第2号 山形文学伝習所 1980年4月
- 「『文学界』時代の島崎藤村と柳田國男『東北民俗』第14輯 東北民俗の会 1980年5月
- 「国木田独歩と柳田國男—小説のモデルとしての柳田國男—」上・下 『磐城民俗』第20～21号 磐城民俗研究会 1980年5月～12月
- 「感じたまゝを書く、ことと聞ききたるまゝを記す、こと」『高校国語研究会紀要』第7号 相双地区高校国語教育研究会 1980年6月
- 「もう一つの『遠野物語』」『山形新聞』夕刊 1980年7月29日号
- 「柳田國男『商業人口に就て』を読んで」『評論』第41号 日本経済評論社 1980年8月
- 「広がる地名研究の輪」『山形新聞』夕刊 1981年5月16日号
- 「小諸における島崎藤村と柳田國男」『東北民俗』第15輯 東北民俗の会 1981年5月
- 「舶来品は高い」『経済学批判』第10号 社会評論社 1981年6月
- 「盛岡藩における幕末藩政改革」(1), (2), (3)『山形大学紀要 社会科学』第12巻第1号～第18巻第12号 1981年7月～1988年1月
- 「福島県霊山町における農用地利用増進事業の実態について」『研究通信』第125号 村落社会研究会 1981年9月
- 「成長産業としての農業」『山形新聞』夕刊 1981年9月18日号
- 「自由民権—福島と山形をつなぐもの—」『信州白樺』第44・45・46合併号 信州白樺 1981年10月
- 「解説・中村寅一氏の人と業績」中村寅一著『村の生活の記録』下 刀水書房 1981年10月
- 「『賃労働と資本』の本邦初訳と雑誌『木鐸』」『季刊場』1981秋 ぐるうぶ場 1981年10月
- 「アンニャとオンツァマ」『羽黒根』第23号 相馬市立大野小学校PTA 1982年3月
- 「私にとって経済学とは何か」『人文ニュース』第14巻第1号 山形大学人文学部 1982年4月
- 「北陸浄土真宗信徒の関東移民—相馬地方への移民の前史として—」『相馬郷土』創刊号 相馬郷土研究会 1982年4月
- 「『賃労働と資本』の本邦初訳の底本をめぐる」『社会科学の方法』第15巻第4号 御茶の水書房 1982年4月
- 「島崎藤村と柳田國男の相互批判」『東北民俗』第16輯 東北民俗の会 1982年5月
- 「大杉栄 若き日の手紙」『遺言』第61号 黒痴社 1982年6月
- 「柳田國男と河上肇」『河上肇全集』第2巻・月報7 岩波書店 1982年7月
- 「相馬の職人」『歴史手帖』第10巻第8号 名著出版 1982年8月
- 「岩崎敏夫の人となり」岩崎敏夫『東北民間信仰の研究』上巻解説 名著出版 1982年8月
- 「浄土真宗移民の問題を」『出版ニュース』出版ニュース社 1982年8月中旬号
- 「ポリティカル・エコノミーとしての柳田民俗学」『経済学批判』第12号 社会評論社 1983年1月
- 「信州伊那と東北との間」『信濃毎日新聞』1983年2月8日号

- 「奥の細道帰り道」『山形新聞』夕刊 1983年2月18日号
- 「盛岡藩小本川における直営鮭漁場の成立」『東北大学研究年報 経済学』第44巻第4号 1983年3月
- 「虚構としての共同体復権」『信濃毎日新聞』1983年6月2日号
- 「最上川流域の変遷—支配権力と交通運輸体系—」『地方史研究』第33巻第4号 地方史研究協議会 1983年8月
- 「いま、なぜ、社会史なのか」『経済評論』第32巻第10号 日本評論社 1983年10月
- 「『遠野物語』と山形」『山形新聞』夕刊 1983年10月19日号
- 「柳田國男のふるさと—辻川点描—」『磐城民俗』第24号 1983年11月
- 「北陸浄土真宗信徒移民への金沢藩の対応—相馬地方への移民を外からみる—」『相馬郷土』第2号 1983年12月
- 「雪国の地方文化—国際シンポジウム雑感—」『山形新聞』夕刊 1984年2月21日号
- 「柳田國男の『日本的なるもの、にひそむ西洋の影』」『福島民俗』第12号 1984年3月
- 「遠野の河童」「石野元美さんのこと」『民話の手帖』第19号 日本民話の会 1984年4月
- 「島崎藤村と柳田國男の疎隔とその後」『東北民俗』第18輯 1984年5月
- 「戦前における農政と村落」『研究通信』第138号 村落社会研究会 1984年9月
- 「国際聯盟常設委任統治委員としての柳田國男」『東国民衆史』第11号 武蔵書房 1984年11月
- 「島崎藤村を通じてみた柳田國男」『信濃教育』第1176号 信濃教育会 1984年11月
- 「周作人の『遠野物語』評」『雪国の春』第12号 柳田國男を読む会 1985年2月
- 「憶説『東北』論—辺境が自己主張する条件—」『エコノミスト』第63巻第17号 毎日新聞社 1985年4月16日号
- 「火合わせの神事」『山形新聞』夕刊 1985年7月16日号
- 「新渡戸家三代の経綸」1～9および補遺『東北の進路』第2巻第5号～第3巻第4号 行政問題研究所 1985年7月～1986年4月
- 「鮭漁」『山形新聞』夕刊 1985年11月12日号
- 「裁判官長尾信論」『相馬通信』第21号 スミノ印刷 1985年12月
- 「盛岡藩津軽石川と南部鼻曲り鮭」上・下 『歴史評論』第433～434号 校倉書房 1986年4月～5月
- 「本間家十代物語」①～⑪『東北の進路』第3巻第6号～第4巻第7号 行政問題研究所 1986年6月～1987年7月
- 「共同体—戦後何を否定し、いままた、何が肯定されようとしているのか—」『歴史学研究』第561号 1986年11月
- 「補訂・柳田國男の紀行文芸をめぐって」上・下 『雪国の春』第13号～第14号 柳田國男を読む会 1986年11月～1987年10月
- 「三島土木行政の再評価」『日本計画行政学会東北支部だより』第1号 日本計画行政学会東

- 北支部 1986年12月
- 「柳田國男の限界と可能性」『季刊iichiko』第2号 日本バリエールアートセンター 1987年1月
- 「山形商業の発達」(上)・(下)『山形新聞』1987年2月26日, 3月4日号
- 「史料解読の難しさ—今後の自戒のために—」『中央図書館—山形大学附属図書館報—』第26号 1987年3月
- 「カナダ柳田学事始」上・下 『山形新聞』夕刊 1987年4月14日, 15日号
- 「柳田近代主義批判の意義と限界—常民の学のなかの皇室—」『季刊クライシス』第30号 社会評論社 1987年4月
- 「我が晩香披 (ヴァンクーヴァー) での片々記」『人文ニュース』第19巻第1号 山形大学人文学部 1987年4月
- 「ヴァンクーヴァーの名園を訪ねて」『全コン東北支部会報』第35号 1987年5月
- 「柳田國男と折口信夫—山人の問題をめぐって—」『折口学と近代』第13号 折口信夫講読会 1987年8月
- 「中村社会史学の軌跡」『伊那路』第31巻第8号 1987年8月
- 「浄土真宗信徒移民の経路について」上・下 『相馬郷土』第4号～第5号 1987年11月～1989年8月
- 「日本におけるセメント生産の歴史」『全コン東北支部会報』第37号 1988年1月
- 「親鸞廿四輩旧跡巡拝と欠落移民」『日本歴史』第477号 吉川弘文館 1988年2月
- 「カナダにおける柳田学」『折口信夫購読会報』第7号 折口信夫購読会 1988年2月
- 「有賀喜左衛門と柳田國男— `イエ、との葛藤をめぐって—」『信州白樺』第67号 銀河書房 1988年2月
- 「伊具郡小斎村における農地改革」『農地改革による農業変革の理論的実証的分析—宮城県を事例として—』昭和61・62年度科学研究書補助金 総合研究(A)報告書(研究代表者安孫子麟) 1988年3月
- 「商の文化・行商」『白い国の詩』381号 東北電力株式会社 1988年5月
- 「制度的な村と実態としての `ムラ、」『歴史地名通信』第11号 平凡社地方資料センター 1988年7月
- 「浄土真宗信徒移民の経路についての—考察」『山形大学紀要 社会科学』19-1 1988年7月
- 「中村吉治著『老閑堂追憶記』解題」刀水書房 1988年7月
- 「東国政権の潜在可能性— `西、に對抗する力持つ—」『北海道新聞』夕刊 1988年8月4日号
- 「東北からの発言—世界と直結する独自性—」『北海道新聞』夕刊 1988年8月5日
- 「農民芸能—黒川能」『NIRA政策研究』1-11 総合研究開発機構 1988年11月
- 「東北興業株式会社成立前史」上・下 『東北学院大学論集 経済学』第109号～第110号 1988年12月～1989年3月

- 「東北という地域の形成—東北開発の前提として—」『東北開発研究』第72号 東北開発研究センター 1989年1月
- 「昭和史と東北農村」『河北新報』夕刊 1989年1月21日号
- 「巨大地主酒田本間家の経営の推移」(1～3)『東北学院大学東北産業経済研究所紀要』第8号～第10号 1989年2月～1991年2月
- 「中央からの東北開発構想」『東北開発研究』第73号 東北開発研究センター 1989年5月
- 「布川・布佐点描」『東北民俗』第23輯 東北民俗の会 1989年5月
- 「長い交流の歴史—ともに歩んだ—〇〇年—」『山形新聞』 1989年6月29日号
- 「歴史学と民俗学—『共同体』論をめぐって—」『歴史学研究月報』No.355 1989年7月
- 「東北開発の点と線」『東北開発研究』第74号 東北開発研究センター 1989年8月
- 「東北外資本の東北投資と東北の従属」『東北開発研究』第75号 東北開発研究センター 1989年10月
- 「『柳田國男』—屋敷と家族に関連して—」『比較家族史研究』第4号 弘文堂 1989年12月
- 「東北振興と東北救済」『東北開発研究』第76号 東北開発研究センター 1990年1月
- 「浄土真宗信徒移民史研究の前進のために」『茨城近代史研究』第5号 茨城の近代を考える会 1990年1月
- 「明治・大正期の東北経済—東北産業の成り立ちと今後の展望—」東北産業経済研究所 第9回シンポジウム『東北学院大学東北産業経済研究所紀要』第9号 1990年2月
- 「解題 地名を通して歴史を考える—新妻三男『相馬地名考』再刊に寄せて—」新妻三男『相馬地名考』相馬郷土研究会 1990年2月
- 「柳田國男の樺太旅行」『磐城民俗』第27号 磐城民俗研究会 1990年3月
- 「昭和恐慌と東北振興」『東北開発研究』第77号 東北開発研究センター 1990年4月
- 「電気百年」①～③『米沢新聞』 1990年4月5日号～6月2日号
- 「柳田國男と酒」『東北民俗』第24輯 東北民俗の会 1990年5月
- 「歴史に生きる農民像」『研究通信』160 村落社会研究会 1990年5月
- 「東北における巨大プロジェクトはいま—ゆれるモデル農村・秋田県大潟村から—」『山形県の社会経済』1990年年報 第3号 山形県経済社会研究所 1990年6月
- 「国策としての東北振興」『東北開発研究』第78号 東北開発研究センター 1990年7月
- 「柳田國男と大嘗祭」『歴史書通信』No.72 歴史書懇話会 1990年8月
- 「戦時経済と東北開発」(1～2)『東北開発研究』第79号～第80号 東北開発研究センター 1990年10月～1991年1月
- 「『遠野物語』八十年—柳田國男の人物像を語る—」『岩手日報』夕刊 1990年12月10日
- 「『柳田國男全集』27・解説」筑摩書房 1990年12月
- 「田山花袋の作品を通してみた柳田國男の青春—利根川下流域の地誌・民俗誌的考察を兼ねて—」『国立歴史民俗博物館研究報告』第34集 1991年3月

- 「松ヶ岡開墾場について」『歴史と地理—日本史の研究—』427 山川出版社 1991年3月
- 「『遠野物語』八十年」『法経』第25号 盛岡短期大学法経学科学学生会 1991年3月
- 「柳田國男の生涯と孤独」『世界思想』第18号 世界思想社 1991年春
- 「大嘗祭後の柳田國男」『東北民俗』第25輯 東北民俗の会 1991年5月
- 「敗戦後の東北開発」『東北開発研究』第81号 東北開発研究センター 1991年5月
- 「東北三法の制定と東北開発」『東北開発研究』第82号 東北開発研究センター 1991年7月
- 「東北における巨大プロジェクトはいま—青函トンネルが地域にもたらしたもの・青森県三厩村—」『山形県の社会経済』1991年年報 第4号 山形県経済社会研究所 1991年8月
- 「山形県における全通労働運動」(1)～(6・完)『東北学院大学論集 経済学』第117号～第122号 1991年9月～1993年3月
- 「全国総合開発計画の策定以降の東北開発」『東北開発研究』第83号 東北開発研究センター 1991年10月
- 「税のあがる話—占有と標識—」『歴博』50 国立歴史民俗博物館 1991年12月
- 「新渡戸七郎—安積疎水建設工事の測量技師—」『東北開発研究』第84号 東北開発研究センター 1992年1月
- 「地方城下町と市の歴史—問題提起にかえて—」「第15回市場史研究会の回顧」『市場史研究』第10号 そしえて 1992年2月
- 「八郎潟干拓地・大潟村の成立と展開」(1)～(10)〈係争中の裁判に資料がかかわるため中断〉『東北学院大学東北産業経済研究所紀要』第11号～第20号 1992年2月～2001年3月
- 「柳田國男における「福祉」の認識」『東北学院大学社会福祉研究所紀要』第9号 1992年3月
- 「占有と標識」『東北大学研究年報 経済学』第53巻第4号 東北大学経済学会 1992年3月
- 「地名からみた現相馬市域の古代・中世」『相馬郷土』第7号 相馬郷土研究会 1992年3月
- 「仙台市における電気事業」『市史せんだい』第1号 仙台市 1992年3月
- 「白井遠平—東北外資本の常磐炭田開発のエージェント—」『東北開発研究』第85号 東北開発研究センター 1992年4月
- 「内藤久寛—越後の日石から世界の日石へ—」『東北開発研究』第86号 東北開発研究センター 1992年7月
- 「日本村落史研究史」『研究通信』169 村落社会研究会 1992年8月
- 「東北における巨大プロジェクトはいま—青森県むつ市・むつ製鉄株式会社—」『山形県の社会経済』1992年年報 第5号 山形県経済社会研究所 1992年8月
- 「塚田正一—電気事業に生命をかけて—」『東北開発研究』第87号 東北開発研究センター 1992年10月
- 「仙台市における公設市場の開設」『市史せんだい』第2号 仙台市 1992年12月
- 「内ヶ崎賛五郎—日本の復興は東北からをモットーに—」『東北開発研究』第88号 東北開発研究センター 1993年1月

- 「タイ東部の米づくり」『河北新報』 1993年1月21日号
- 「タイの国際セミナーに参加—村落共同体研究で討論—」『東北学院時報』 第503号 1993年2月
- 「サムトの婆をめぐって」『平成四年度 博物館講座 講義集』Ⅱ 遠野市立博物館 1993年3月
- 「斎藤憲三—未知の物質フェライトの工業化を推進—」『東北開発研究』 第89号 東北開発研究センター 1993年4月
- 「第二三回研究大会の開催にあたって」『会報・比較家族史』 20 比較家族史学会 1993年4月
- 「タイ農村での一宿一飯の記—私の採訪ノートから—」『東北民俗』 第27輯 東北民俗の会 1993年6月
- 「知事を先頭に非買同盟組合」『市場史研究』 第12号 そしえて 1993年6月
- 「植民地政策と柳田國男—朝鮮・台湾—」『国文学—解釈と教材の研究—』 第38巻第8号 学燈社 1993年7月
- 「藤田謙一—家出息子から財界巨頭へ—」『東北開発研究』 第90号 東北開発研究センター 1993年7月
- 「三本木原開発と浄土真宗信徒移民の導入」『東北学院大学東北文化研究所紀要』 第25号 1993年8月
- 「もう一人の柳田國男」〈上・中・下〉『沖縄タイムス』 1993年8月23日, 24日, 25日号
- 「東北における巨大プロジェクトはいま—酒田住軽アルミ(株)の挫折—」『山形県の社会経済』 1993年年報 第6号 山形県経済社会研究所 1993年9月
- 「1950年代の山形県における全通労働運動」(1)～(13・完)『東北学院大学論集 経済学』 第123号～第135号 1993年9月～1997年9月
- 「亀井文平—一代にして地方総合商社の基礎を築く—」『東北開発研究』 第91号 東北開発研究センター 1993年10月
- 「わたしのやまがた論—発信する文化—」『山形新聞』 1993年10月14日号
- 「中国に対する植民地政策と柳田國男」『歴史書通信』 No.91 歴史書懇話会 1993年11月
- 「東北開発一二〇年の歴史から学ぶこと」『佐藤誼政治経済農業研究所報告』 第6号 佐藤誼政治経済農業研究所 1993年11月
- 「館の下焼について」『第二回館の下焼展示会展示目録』 館の下焼保存会 1993年11月
- 「『サムトの婆』再考—『遠野物語』の初稿考察の一環として—」『国立歴史民俗博物館研究報告』 第51集 1993年11月
- 「中條政恒—郡山市の基礎づくりに邁進—」『東北開発研究』 第92号 東北開発研究センター 1994年1月
- 「世変わりの時期は暗く始まる—東北地方から日本がみえる—」『エコノミスト』 毎日新聞社 1994年1月18日号
- 「仙台市における公設市場の波紋」「仙台市公設市場での出店をめぐる争い」「仙台市に物価の目

- 付役登場』『市場史研究』第13号 そしえて 1994年2月
- 「地域呼称としての相馬の成立」『相馬郷土』第9号 相馬郷土研究会 1994年3月
- 「地域開発政策の地域に与えたひずみ」(1)～(2)『民研論稿』第15号～第16号 山形県国民教育研究所 1994年3月～1997年3月
- 「農地忘れた国土政策」『河北新報』1994年4月5日号
- 「タイ農村の『一宿一飯の記』」上・下『エコノミスト』毎日新聞社 1994年4月5日～12日号
- 「中村長助—カナダの森林と漁場に逞しく生きた—」『東北開発研究』第93号 東北開発研究センター 1994年4月
- 「水上助三郎—オットセイ王から耕海富国をめざして—」『東北開発研究』第94号 東北開発研究センター 1994年7月
- 「幻の四ッ谷用水はいま天に架かる」『仙台市政だより』1474号 仙台市総務局秘書部広報課 1994年8月
- 「『物語・東北開発120年史』総括編」『東北開発研究』第95号 東北開発研究センター 1994年10月
- 「『遠野物語』をめぐる柳田國男と佐々木喜善」『フォークロア』第5号 本阿弥書店 1994年11月
- 「経済学部設置30周年・文学部創設35周年—OBを招き記念講演会—」『東北学院時報』523号 1994年12月
- 「東北七地域の生成過程と二十一世紀—新潟県と東北六県の一体性についての歴史的考察—」『IVICT情報』28 (財東北産業活性化センター 1994年12月)
- 「『遠野物語』初稿を読んで—第一話から第二六話まで—」『平成五年度博物館講座 講義集』Ⅲ 遠野市立博物館 1994年12月
- 「明治期の東北開発と相馬」『相馬ロータリークラブ会報』1587回 相馬ロータリークラブ 1995年2月4日号
- 「相馬における米と繭の農業の展開」『相馬ロータリークラブ会報』1591回 相馬ロータリークラブ 1995年3月4日号
- 「北陸地域における流通史・市場史へのアプローチ」『市場史研究』第14号 そしえて 1995年3月
- 「塩の道の歴史的考察—東北における肋骨道路の役割—」『IVICT情報』29 (財東北産業活性化センター 1995年3月)
- 「みやぎの歴史にみる企業家精神」『MRIRA』第3号 (財宮城県地域振興センター 1995年3月)
- 「仙台のビール工場とシカゴのアル・カポネの生みの親は国際連盟の提唱者ウィルソン」『仙台市政だより』1483号 仙台市総務局秘書部広報課 1995年5月
- 「地方史研究の現状③岩手県—近代—」『日本歴史』第565号 吉川弘文館 1995年6月

- 「輓近温泉私観」『温泉』第689号 日本温泉協会 1995年6月
- 「三本木原開発と浄土真宗信徒移民の導入」学術文献刊行会編『日本史学年次別論文集』近世2 (1993) 朋文出版 1995年7月
- 「一事例を通してみた陸奥中村藩における浄土真宗信徒移民の受容」『東北学院大学東北文化研究所紀要』第27号 1995年8月
- 「タイの東北・日本の東北」『山形県の社会経済』1995年 年報第8号 1995年9月
- 「中世の相馬における当山派の拠点は歓喜寺だった」『えおひっぷす』91 1995年10月
- 「phiとphi」『仙台・南アジア研究会季報』第4号 南アジア研究会 1995年10月
- 「花は相馬に実は伊達に」『えおひっぷす』92 1995年11月
- 「タイの女性と仏教」『仙台・南アジア研究会季報』第5号 南アジア研究会 1995年12月
- 「『遠野物語』初稿を読んで(2)―第二七話から第五三話まで―」「『遠野物語』初稿を読んで(3)―第五四話から第七三話まで―」『平成六年度博物館講座 講義集』IV 遠野市立博物館 1995年12月
- 「三島通庸―開発独裁政権の政策推進者―」『東北開発研究』第100号 東北開発センター 1996年1月
- 「近世中村城の造営と城下町中村の形成―奥州浜街道と字多川の経路の推移―」『国立歴史民俗博物館研究報告』第67集 国立歴史民俗博物館 1996年3月
- 「山の民の来る市」『仙台・南アジア研究会季報』第6号 南アジア研究会 1996年3月
- 「柳田國男の共同体と封建制のとらえ方―その社会経済史学への影響―」『真宗寺講義だより』新編第19号 無量山真宗寺 1996年3月
- 「サムトの婆々と佐々木喜善」『東北民俗』第30輯 1996年6月
- 「山の民の村」『仙台・南アジア研究会季報』第7号 南アジア研究会 1996年6月
- 「根岸の里は仙台地ビール発祥の地―松倉ビール・宮城ビール―」『仙台市政だより』1498号 仙台市総務局秘書部広報課 1996年8月
- 「陸奥中村藩における新百姓取立政策の展開」(1)～(4・完)『東北学院大学東北文化研究所紀要』第28号～第31号 1996年8月～1999年8月
- 「成功、が失敗のはじまりだった―山形県総合開発計画の検証(1)―」『山形県の社会経済』1996年 年報第9号 山形県経済社会研究所 1996年9月
- 「鯛はタイでも腐っても鯛」『仙台・南アジア研究会季報』第8号 南アジア研究会 1996年10月
- 「一通の手紙―佐々木喜善から水野葉舟(盈太郎)へ―」『磐城民俗』第30号 磐城民俗研究会 1996年11月
- 「仙台市における勸工場・公設市場・卸売市場・百貨店」『市場史研究』第16号 そしえて 1996年11月
- 「チャンプアク市場の肉売場」『仙台・南アジア研究会季報』第9号 南アジア研究会 1996年

12月

- 「花は相馬に実は伊達に一中村（相馬）藩・仙台（伊達）藩・米沢（上杉）藩をめぐる境界争論一」『相馬郷土』第12号 相馬郷土研究会 1997年3月
- 「旧暦四月八日のこと」『えおひっぶす』109 1997年4月
- 「山寺とモン族の市」『仙台・南アジア研究会季報』第10号 南アジア研究会 南アジア研究会 1997年3月
- 「『遠野物語』初稿を読んで（四）一第七四話から第一〇八話まで一」「『遠野物語』初稿を読んで（五）一初稿に載っていない話一」『平成七年度博物館講座講義集』V 遠野市博物館 1997年5月
- 「チェンマイのナイト・バザール」『仙台・南アジア研究会季報』第11号 南アジア研究会 1997年6月
- 「リスクを負う勇気持て」『河北新報』夕刊 1997年6月4日号
- 「自分で使える史料の量」“Assist News” No.14 東北学院大学経済研究資料室 1997年7月
- 「『仙台市史 特別編6 民俗』の刊行にあたって」『市史せんだい』第7号 仙台市 1997年7月
- 「柳田國男『炭焼日記』と岩崎敏夫『東北民俗学研究』第5号 東北学院大学民俗学OB会 1997年9月
- 「福祉が喰いものにされる前—山形県総合開発計画の検証(2)—」『山形県の社会経済』1997年年報第10号 山形県経済社会研究所 1997年9月
- 「ダヌムン・サドゥアク水上マーケット」『仙台・南アジア研究会季報』第12号 南アジア研究会 1997年11月
- 「柳田國男と市場問題」『市場史研究』第17号 そしえて 1997年11月
- 「私の民俗誌論」『日本民俗誌集成・編集のしおり』6 三一書房 1997年11月
- 「一事例を通してみた陸奥中村藩における浄土真宗信徒移民の受容」学術文献刊行会編『日本史学年次別論文集』近世2 朋文出版 1997年11月
- 「史料三点—浄土真宗と移民— 真宗寺仏教青年会編『同心』35号 無量山真宗寺 1997年12月
- 「1960年代の山形県における全通労働運動」(1)～(8・完)『東北学院大学論集・経済学』第136号～第143号 1997年12月～2000年3月
- 「ナコーン・パトムの門前市」『仙台・南アジア研究会季報』第13号 南アジア研究会 1998年1月
- 「山形県の金融機関の現況—ビックバンを前に、どうする、どうなる—」『山形県の現在と未来』研究所十周年記念増刊号 山形県経済社会研究会 1998年2月
- 「相馬—城下町—」「相馬野馬追」『別冊太陽コレクション・城下町散歩』8—仙台・東北・北海道の城下町— 平凡社 1998年4月
- 「バンコクのウィークエンド・マーケット」『仙台・南アジア研究会季報』第14号 南アジア研

究会 1998年4月

「青森県のリンゴ」『東北開発研究』第108号 東北開発研究センター 1998年4月

「燕の金属洋食器」『東北開発研究』第109号 東北開発研究センター 1998年7月

「柳田國男とハーン」『國文学—解釈と教材の研究—』第43巻第8号 学燈社 1998年7月

「マーブクロンセンター」『仙台・南アジア研究会季報』第15号 南アジア研究会 1998年7月

「人口の県外流出を促したもの—山形県総合開発計画の検証(3)—」『山形県の社会経済』1998年
年報第10号 山形県経済社会研究所 1998年9月

「白石の温麺」『東北開発研究所』第110号 東北開発研究センター 1998年10月

「南光州駅前朝市」『仙台・南アジア研究会季報』第16号 南アジア研究会 1998年10月

「中里介山『大菩薩峠』と相馬」(上・下)『えおひっぶす』127～128 相馬郷土研究会 1998
年10月～11月

「相馬陶器と小野相馬焼」『月刊健康』No.486 月刊健康刊行所 1998年12月

「光州市近郊の六斎市—和順邑場—」『仙台・南アジア研究会季報』第17号 南アジア研究会
1998年12月

「山形県の金山杉」『東北開発研究』第111号 東北開発研究センター 1999年1月

「近世中村城および城下町中村とその周辺における寺社配置」『国立歴史民俗博物館研究報告』
第78号 国立歴史民俗博物館 1999年3月

「東北開発の歴史を考える三部作—私の研究—」『東北学院時報』第570号 学校法人東北学院
1999年3月

「京城のウェディング・ドレス通り」『仙台・南アジア研究会季報』第18号 南アジア研究会
1999年3月

「秋田の酒」『東北開発研究』第112号 東北開発研究センター 1999年4月

「会津本郷焼」『東北開発研究』第113号 東北開発研究センター 1999年7月

「那覇のマチとマチグラー」『季刊hitakami』第2号 アジアひたかみ研究会 1999年9月

「県民の都市化要求への対応とは—山形県総合開発計画の検証(4)—」『山形県の社会経済』第
12号 1999年9月

「南部の鼻曲り(岩手県)」『東北開発研究』第114号 東北開発研究センター 1999年10月

「特集 市場を通じてみたアジアのなかの沖縄：問題提起—中世から現代へ、そして未来へ—」
『市場史研究』第19号 そしえて 1999年11月

「仙台駅の位置が決まるまで」『仙台市政だより』1539号 仙台市 2000年1月

「白根・三条・長岡の仏壇(新潟県)」『東北開発研究』第115号 東北開発研究センター 2000
年1月

「ナーファヌマチ」『季刊hitakami』第3号 アジアひたかみ研究会 2000年3月

「陸奥中村藩における新百姓取立政策—浄土真宗信徒移民の導入—」『東北経済学会誌』1999年

- 度 東北経済学会 2000年3月
- 「仙台味噌（宮城県）」『東北開発研究』第116号 東北開発研究センター 2000年4月
- 「戦前の那覇市場は公設市場か—那覇市と沖縄県の見解の対立をめぐって—」『季刊hitakami』第4号 アジアひたかみ研究会 2000年5月
- 「柳田國男に忌み嫌われた民俗学者・赤松啓介逝く」『季刊hitakami』第4号 アジアひたかみ研究会 2000年5月
- 「南部鉄器（岩手県）」『東北開発研究』第117号 東北開発研究センター 2000年7月
- 「陸奥中村藩中郷萱浜村における新百姓取立政策—二宮尊徳仕法の一環として—」『東北学院大学東北文化研究所紀要』第32号 東北学院大学東北文化研究所 2000年8月
- 「1970年代の山形県における全通労働運動(1)～(9・完)』『東北学院大学論集 経済学』第144～153号 東北学院大学学術研究会 2000年9月～2003年9月
- 「澳門返還の日の西双版納」『山形県の社会経済』第13号 山形県社会経済研究所 2000年9月
- 「津軽塗（山形県）」『東北開発研究』第118号 東北開発研究センター 2000年10月
- 「The Formation and Transition of Tohoku Region at Economy in Japan」『東北学院大学論集 経済学』第145号（上）東北学院大学学術研究会 2000年12月
- 「SipsongpannaとXisuangbanna」『季刊hitakami』増刊号〈特集日タイセミナー・雲南シブソパンナの旅〉アジアひたかみ研究会 2001年1月
- 「川俣羽二重（福島県）」『東北開発研究』第119号 東北開発研究センター 2001年1月
- 「第50回大会を引き受けて」『研究通信』第200号 日本村落社会研究学会 2001年1月
- 「青年学徒坂内亀彦の地域研究の試み—松岡静雄・山田孝雄・柳田國男との書信の交換を通じて—」『福島の民俗』第29号 福島県民俗学会 2001年3月
- 「伊能嘉矩と『遠野物語』」「伊能嘉矩と『遠野物語』拾遺」『平成8年度博物館講座講義集』IV 遠野市立博物館 2001年3月
- 「総論」「仙台市における公設市場—戦前を中心に—」「沖縄県公設小売市場成立前史」『文部省科学研究費助成金・基盤研究B一般(1)報告書・わが国における公設小売市場の形成と展開に関する研究』〔課題番号10430018〕（研究代表者岩本由輝）2001年3月
- 「コケにされた相馬大膳亮」『相馬郷土』第16号 相馬郷土研究会 2001年3月
- 「さくらんぼ（山形県）」『東北開発研究』第120号 東北開発研究センター 2001年4月
- 「鉄の生産と環境への憂慮—原町市立博物館『相馬の鋳物師』展に寄せて—」『文化福島』第354号 福島県文化振興事業団 2001年6月
- 「作辦—国民俗学的日本民俗学—通過柳田國男思想与亜州的關係—」南開大学日本研究中心・東亜比較文化国際会議編『国際政治経済体系与東亜』（国際学術検討会〈系列之三〉變動期的東亜社会与文化第五論文）南開大学日本研究中心 2001年9月
- 「陸奥中村藩における新百姓取立に関する史料拾遺」『東北学院大学東北文化研究所紀要』第33号 東北学院大学東北文化研究所 2001年9月

- 「20世紀前半の山形経済」「環境問題・資源問題に直面するなかで—山形県総合開発の検証(5)—」
『山形県の社会経済(2001年)』第14号 山形県社会経済研究所 2001年9月
- 「飯岡春波と周辺の人々」『えおひっばす』164 相馬郷土研究会 2001年11月
- 「中村正西寺のできるまで」『浜推進協だより』第22号 真宗大谷派仙台教区浜組推進員連絡協議会 2001年11月
- 「交通—人力車から地下鉄まで—」『近現代仙台の経済と市民生活』(平成13年度東北学院大学公開講義) 東北学院大学経済学部 2001年12月
- 「移民と宗教—私の研究—」『東北学院時報』第601号 学校法人東北学院 2002年1月
- 「修士論文の一部が国際学術出版物に」『ウーラノス』第9号 東北学院大学 2002年2月
- 「『栃木県史』史料編などにみる中世の遠野」『村落社会研究』第8巻第2号(通巻16号) 農山漁村文化協会 2002年3月
- 「中村正西寺の成立と僧発教の相続」『相馬郷土』第17号 相馬郷土研究会 2002年3月
- 「経済の変動—脱工業化をめぐる摩擦—」『山形県の社会経済』(2002年)第15号 山形県経済社会研究所 2002年9月
- 「仙台に設立された移民会社の顛末—沖繩県における営業活動を中心に—」『東北学院大学東北文化研究所紀要』第34号 東北学院大学東北文化研究所 2002年9月
- 「前近代における鉄と相馬—生産された鉄と移入された鉄—」『市場史研究』第22号 市場史研究会 2002年11月
- 「舟運が地域経済を支えた東北七河川」『季刊河川レビュー』第120号 新公論社 2002年11月
- 「三居沢における試験点燈—日本最初の水力発電—」『白い国の詩』558号 東北電力株式会社社会地域交流部 2003年2月
- 「東北初の電気事業—宮城水力紡績と仙台電燈—」『白い国の詩』559号 東北電力株式会社社会地域交流部 2003年3月
- 「陸奥中村藩中郷萱浜村における新百姓取立—二宮尊徳仕法の一環として—」学術文献刊行会編『日本史学年次別論文集』近世2・2000年 朋文出版 2003年3月
- 「長距離送電のはじまり—日本で二番目の営業用水力発電所—」『白い国の詩』560号 東北電力株式会社社会地域交流部 2003年4月
- 「東北における汽力発電—青森電燈と新潟電燈の開業—」『白い国の詩』561号 東北電力株式会社社会地域交流部 2003年5月
- 「鉱山などにおける自家発電—中央鉱山資本の進出—」『白い国の詩』562号 東北電力株式会社社会地域交流部 2003年6月
- 「地主と石油事業者の電気事業—新潟電燈と北越水力電気—」『白い国の詩』563号 東北電力株式会社社会地域交流部 2003年7月
- 「水の多目的利用の始まり—両羽絹糸紡績・米沢水力電気・鶴岡水力電気—」『白い国の詩』564号 東北電力株式会社社会地域交流部 2003年8月

- 「電気事業の“種蒔く人”―秋田電気の成立まで―」『白い国の詩』565号 東北電力株式会社広報・地域交流部 2003年9月
- 「近世初期における人返しの協定と実態―陸奥中村藩と仙台藩における関係を中心に―」『東北学院大学東北文化研究所紀要』第35号 東北学院大学東北文化研究所 2003年9月
- 「東北学院の歴史と先人たち―大正デモクラシーと東北学院―」『東北学院時報』第619号 学校法人東北学院 2003年9月
- 「石川啄木の電気事業への期待―盛岡電気の開業まで―」『白い国の詩』566号 東北電力株式会社広報・地域交流部 2003年10月
- 「中村藩江戸下屋敷取得の事情」『えおひっぶす』187 相馬郷土研究会 2003年10月
- 「京浜工業地帯への電力供給―猪苗代水力電気と東京電燈―」『白い国の詩』567号 東北電力株式会社広報・地域交流部 2003年11月
- 「余剰電気とカーバイド工業―宮城紡績電燈と北越水力電気―」『白い国の詩』568号 東北電力株式会社広報・地域交流部 2003年12月
- 「杉山元治郎と東北学院―大正デモクラシーの実践的体現者―」『東北学院資料室』Vol.3 学校法人東北学院 2003年12月
- 「1980年代の山形県における全通労働運動」(1)～(7・完)『東北学院大学論集経済学』第154～160号 東北学院大学学術研究会 2003年12月～2005年12月
- 「農事電化のはじまり―鶴岡水力電気と矢馳揚水機組合―」『白い国の詩』570号 東北電力株式会社広報・地域交流部 2004年2月
- 「東北地方の電車事業―温泉や観光地を結んで―」『白い国の詩』571号 東北電力株式会社広報・地域交流部 2004年3月
- 「陸奥中村藩の江戸屋敷」『相馬郷土』第19号 相馬郷土研究会 2004年3月
- 「大島高任の洋式高炉の建設と柳田國男『遠野物語』の山人」『比較家族史研究』第18号 弘文堂 2004年3月
- 「電気事業国家管理の進行―東北振興電力・日本発送電・東北配電―」『白い国の詩』572号 東北電力株式会社広報・地域交流部 2004年4月
- 「一事例を通してみた陸奥中村藩における浄土真宗信徒移民の受容」『標葉郷土』第1号 浪江町郷土史研究会 2004年4月
- 「東北電力株式会社の誕生―白洲次郎と内ヶ崎賛五郎―」『白い国の詩』573号 東北電力株式会社広報・地域交流部 2004年5月
- 「只見川の電源開発―日本のTVA東北版―」『白い国の詩』574号 東北電力株式会社広報・地域交流部 2004年6月
- 「揚水式発電所の戦前と戦後―運転開始当時、東洋一の沼沢沼発電所―」『白い国の詩』575号 東北電力株式会社広報・地域交流部 2004年7月
- 「新鋭火力電源開発事業の展開―八戸・仙台・新潟の火力発電所―」『白い国の詩』576号 東北

- 電力株式会社広報・地域交流部 2004年8月
「家庭電化の“三種の神器”―電気冷蔵庫・電気洗濯機・電気掃除機―」『白い国の詩』577号
東北電力株式会社広報・地域交流部 2004年9月
「火力発電技術の発展と模索―新仙台火力発電所の稼働―」『白い国の詩』578号 東北電力株式
会社広報・地域交流部 2004年10月
「コンバインド・サイクルの誕生―熱効率最高水準の実現・東新潟火力発電所―」『白い国の詩』
579号 東北電力株式会社広報・地域交流部 2004年11月
「特別展示・大正デモクラシーと東北学院―杉山元治郎と鈴木義男―」『東北学院時報』632号
学校法人東北学院 2004年11月
「近世初期の陸奥中村藩と仙台藩における人返しの実態・補遺」『東北学院大学東北文化研究所
紀要』第36号 東北学院大学東北文化研究所 2004年11月
「“第三の火”をともして―女川原子力発電所の誕生―」『白い国の詩』580号 東北電力株式
会社広報・地域交流部 2004年12月
「韓国の六斎市・五日場」『市場史研究』第24号 市場史研究会 そしえて 2004年12月
「特別展示・大正デモクラシーと東北学院―杉山元治郎と鈴木義男―」『東北学院資料室』No.4
学校法人東北学院 2004年12月
「大地と風土に電源を求めて―東北の地熱・風力発電所―」『白い国の詩』582号 東北電力株式
会社広報・地域交流部 2005年2月
「はがき通信〈仁橋御手形〉」『日本歴史』第681号 吉川弘文館 2005年2月
「仙台藩領における北上川筋の河川舟運に関する―考察―迫川・江合川・鳴瀬川筋および阿武隈
川を含む―」『アジア流域文化論研究』1 東北学院大学オープンリサーチセンター 2005
年3月
「電気事業の新たな発展―電力の自由化―」『白い国の詩』583号 東北電力株式会社広報・地域
交流部 2005年3月
「府県制度確立以前における県政の一端―角田県を事例として―」『相馬郷土』第20号 相馬郷
土研究会 2005年3月
「総論」 「沖縄県中央卸売市場の開設と展開」 『科学研究費補助金・基盤研究B一般(1)研究成果報
告書』 〈我が国における卸売市場の形成と展開に関する研究〔課題番号14330024〕〉 (研究代
表者岩本由輝) 2005年3月
「仙台に設立された移民会社の顛末―沖縄県における営業活動を中心に―」 学術文献刊行会編『日
本史学年次別論文集』近代2 2002(平成14)年 朋文出版 2005年4月
「杉山元治郎の故郷(1)~(2)」 『ウーラノス』22~23 東北学院大学 2006年5月~10月
「己百丸・己千丸の原釜初入津と積立始め」 『磐城民俗』第34号 磐城民俗研究会 2005年7月
「飛脚情報と地方商人―陸奥中村藩の―商家番頭の日記による―」 市場史研究 第26号 そしえ
て 2006年12月

- 「幕末期陸奥中村藩における御趣意船の建造—吉田屋源兵衛覚日記を中心に—」『東北学院大学東北文化研究所紀要』第37号 東北学院大学東北文化研究所 2005年11月
- 「大正デモクラシーと東北学院」『3L通信・Lux Mundi』Vol.2 東北学院庶務部校務課 2006年1月
- 「角田県における北海道移民—封建家臣団解体の一過程として—」(1)~(2)『相馬郷土』第21~22号 郷土研究会 2006年3月~2007年3月
- 「1990年代の山形県における全通労働運動」(1)~(8・完)『東北学院大学経済学論集』第161~168号 東北学院大学学術研究会 2006年3月~2008年9月
- 「旭紡織株式会社の設立と顛末」『市史せんだい』Vol.16 仙台市博物館 2006年9月
- 「出羽久保田藩佐竹氏と陸奥中村藩相馬氏との重縁関係」(上)・(下)『東北学院大学東北文化研究所紀要』第38~39号 東北学院大学東北文化研究所 2006年11月~2007年12月
- 「杉山元治郎と社会主義」『東北学院資料室』No.6 学校法人東北学院 2006年12月
- 「レオン・ゾルブラッドと真壁仁」『真壁仁研究』第7号 東北芸術工科大学東北文化研究センター 2007年1月
- 「杉山元治郎の受洗」『ウーラノス』24 東北学院大学 2007年2月
- 「追悼号の刊行にあたって」『比較家族史研究』21 弘文堂 2007年3月
- 「日英同盟の金融的背景の推移」『ヨーロッパ文化史』第8号 東北学院大学ヨーロッパ文化研究所・東北学院大学大学院文学研究科ヨーロッパ文化史専攻 2007年3月
- 「現仙台市域における産業組合」『農林金融』第60巻第5号 農林中央金庫 2007年5月
- 「『子供は知らなくていい』話」『えおひっぶす』230 相馬郷土研究会 2007年5月
- 「杉山元治郎と『真紅』事件」『ウーラノス』25 東北学院大学 2007年5月
- ‘YAMADA NAGAMASA AND HIS RELATIONS WITH SIAM’, *The Journal of the Siam Society* Vol.95, Amarin Printing and Publishing Public Company Limited, Bangkok, Thailand, June 2007
- 「閏五月中の申の日の野馬追」『えおひっぶす』232 相馬郷土研究会 2007年7月
- 「『墓地及埋葬取締規則』の施行と墓地慣行との軋轢—現仙台市域を中心に—」『研究通信』No.220 日本村落研究学会 2007年10月
- 「杉山元治郎と一冊の聖書」『ウーラノス』26 東北学院大学 2007年11月
- 「日本農民組合設立に向けて」『東北学院資料室』No.7 学校法人東北学院 2007年12月
- 「閏五月に執行された野馬追本祭」『えおひっぶす』238 相馬郷土研究会 2008年1月
- 「仙台藩領における北上川の河岸」『東北学院大学東北産業経済研究所紀要』27 東北学院大学東北産業経済研究所 2008年2月
- 「服忌中の藩主と野馬追」『えおひっぶす』239 相馬郷土研究会 2008年2月
- 「杉山元治郎 東北学院へ入学」『ウーラノス』27 東北学院大学 2008年2月
- 「角田県における神仏分離そのほか」『相馬郷土』23 相馬郷土研究会 2008年3月

- 「仙台藩領における北上川筋の河川舟運に関する一考察—迫川・江合川・鳴瀬川筋および阿武隈川筋を含む—」 学術文献刊行会編『日本史学年次別論文集』8近世1〈2005（平成17）年〉 朋文出版 2008年5月
- 「双鶴丸は原釜・請戸に回航したか」『えおひっぶす』242 相馬郷土研究会 2008年5月
- 「幕末期中村藩の後期高齢者への処置」『えおひっぶす』243 相馬郷土研究会 2008年6月
- 「唐土の鳥と蒙古の碑」『磐城民俗』35 磐城民俗研究会 2008年6月
- 「杉山元治郎とディヴィッド・ボーマン・シュネーダー」『ウーラノス』28 東北学院大学 2008年7月
- 「近代墓地法制の形成・展開と墓地慣行との軋轢—旧城下仙台を中心に—」(1) (2)～（続刊中） 『東北学院大学東北文化研究所紀要』40, 41 東北学院大学東北文化研究所 2008年12月, 2009年12月～（続刊中）
- 「杉山元治郎とクロス協会の結成」『ウーラノス』29 東北学院大学 2008年12月
- 「杉山元治郎と日本農民福音学校」(1)～(2)『東北学院資料室』No. 8～9 学校法人東北学院 2008年12月～2010年4月
- 「2000年代の山形県における全通労働運動」(1)～(7・完)『東北学院大学経済学論集』第169～175号 東北学院大学学術研究会 2008年12月～2010年12月
- 「沖縄県公設市場成立前史」マチグワー楽会編『市場の歴史・未来・魅力・問題点を考える』マチグワー楽会設立準備会 2009年3月
- 「総論」『平成20年度教育・学習方法等改善支援事業報告書・杉山元治郎・鈴木義男の事績を通して見る東北学院の建学の精神』（研究代表者岩本由輝） 2009年3月
- 「もう一つの相馬氏—相馬治胤と相馬義胤—」（上・中・下）『相馬郷土』第24～26号 相馬郷土研究会 2009年3月～2011年3月
- 「『杉山元治郎・鈴木義男の事績を通して見る東北学院の建学の精神』を刊行」『東北学院時報』第683号 学校法人東北学院 2009年6月
- 「出羽久保田藩佐竹氏と陸奥中村藩相馬氏との重縁関係」（上）学術文献刊行会編『日本史学年次別論文集』近世1〈2006（平成18）年〉 朋文出版 2009年6月
- 「『大正デモクラシーと東北学院—杉山元治郎と鈴木義男—』—刊行から2年—」（仁昌寺正一と共同執筆）『東北学院大学教職員修養会・キリスト者教員研究会報告書』10 東北学院大学 2009年7月
- 「文人画家？杉山元治郎」『ウーラノス』30 東北学院大学 2009年9月
- 「杉山元治郎の牧師就任と罹病」『ウーラノス』31 東北学院大学 2009年12月
- 「受戸浜宿志賀七重郎と大南部・小南部と鉏鉄取引」『アジア流域文化研究』VI 東北学院大学 アジア流域文化研究所 2010年3月
- 「杉山元治郎と小高農林高等学校—古稀過ぎでの老耄の61年ぶりの復習を兼ねて—」『平成21年度 教育・学習方法等改善支援事業報告書・創業者の事績を通して見る東北学院の建学の精

- 神』（研究代表者仁昌寺正一） 学校法人東北学院 2010年3月
- 「豆腐がつなぐ湯殿山麓と琉球紅型—六浄とルクジュウ—」『東北民俗』第44輯 東北民俗の会
2010年7月
- 「杉山元治郎，小高教会牧師として再出発」『ウーラノス』32 東北学院大学 2010年7月
- 「『遠野物語』は3つあった」『怪』0030 角川書店 2010年7月
- 「柳田國男と現代民俗学—柳田民俗学の現代的意味—」『神奈川大学論』第66号 2010年7月
- 「出羽久保田藩佐竹氏と陸奥中村藩相馬氏との重縁関係」（下）学術文献刊行会編『日本史学年
次別論文集』近世1 2007（平成19）年 朋文出版 2010年7月
- 「私の職人論」（上・下）『建設通信新聞』日刊建設通信新聞社 2010年11月10日，12月3日号
- 「金山の原町河岸について」『えおひっぶす』273 相馬郷土研究会 2010年12月
- 「杉山元治郎と私立小高農民高等学校」『ウーラノス』33 東北学院大学 2010年12月
- 「三越仙台支店進出反対運動と全日本専門店会聯盟（日専聯）の設立」『市場史研究』第30号
アイノア 2011年1月
- 「仙台市・宮城県における公益電気事業と太田千之助」『東北学院大学経済学論集』第176号 東
北学院大学学術研究会 2011年3月
- 「キリスト教と近代日本の知識人—吉野作造・鈴木文治・杉山元治郎（1）～ 『平成22年度日本
私立学校振興・共済事業団学術研究資金助成研究報告書・キリスト教教育と近代日本の知識
人形成—東北学院を事例として—』（研究代表者仁昌寺正一） 学校法人東北学院 2011年3
月～
- 「阿武隈川・白石川における河岸の変遷—丸森地区を中心に—」『アジア流域文化研究』Ⅶ 東
北学院大学アジア流域文化研究所 2011年3月
- 「近世陸奥中村藩における浄土真宗信徒移民の導入—木幡彦兵衛の覚書にみるその実態—」『村
落社会研究』第17巻第2号（第34号） 農山漁村文化協会 2011年4月
- 「〔東日本大震災に想う〕400年目の烈震・津波」『Forum Opinion』13 NPO現代の理論・社会
フォーラムForum Opinion編集委員会 2011年6月
- 「大イチョウと津波—『痕跡』後世に残したい—」『河北新報』2011年7月24日号
- 「400年目の烈震・津波と東京電力福島第一原発の事故」『研究通信』No.232 日本村落研究学会
2011年9月
- 「原発立地と津波に関する口碑伝説」『歴史書通信』No.198 歴史書懇話会 2011年11月
- 「中村開府直前，中村を訪れた南蛮人」『えおひっぶす』280 相馬郷土研究会 2011年11月
- 「地震・津波，そして原発事故」『クリエーター』19 山形県経済社会研究所 2011年秋

六 翻 訳

- Y・ブロムレイ「ソヴィエト民族誌学の現状」『社会科学』17号 社会科学社 1978年9月

- 柳田國男「委任統治領における原住民の福祉と発展」(1923年7月20日～8月10日『国際聯盟常設委任統治委員会第3回会議議事録』所収)『磐城民俗』第22号 磐城民俗研究会, 1981年4月(のち岩本由輝『もう一つの遠野物語』刀水書房, 1983年5月, 岩本由輝『もう一つの遠野物語』〈追補版〉刀水書房, 1994年2月に収録)
- パースック・ボンパイチット クリス・ベーカー共著 北原淳・野崎明監訳 日タイセミナー訳『タイ国—近現代の経済と政治—』「第13章 結論」(野崎明と共訳)刀水書房 2006年11月

七 書 評

- 「書評・文化財保護委員会編『田植の習俗 I 岩手県江刺・遠野』を読んで」『磐城民俗研究会会報』第3号 磐城民俗研究会 1965年10月
- 「書評・竹内利美編『下北の村落社会—産業構造と村落体制—』」『河北新報』1968年4月29日号
- 「書評・森芳三著『明治期初期独占論』」『人文ニュース』第8号 山形大学人文学部 1969年10月
- 「書評・“The Ming Tribute Grain System” by Hoshi Ayao: Translated by Mark Elvin」『人文ニュース』第2巻第5号 山形大学人文学部 1970年6月
- 「書評・岩崎敏夫著『二宮尊徳仕法の研究—相馬藩を中心として—』」『福島民友』1970年10月29日号
- 「書評・鈴木良一著『日本中世の農民問題』」『日本読書新聞』1971年11月8日号
- 「書評・大谷瑞郎著『幕藩体制と明治維新』」『日本読書新聞』1973年4月9日号
- 「書評・星斌夫著『中国—近代史話—』」『せいきょう』第47号 山形大学生生活協同組合組織部 1973年4月
- 「書評・大川健嗣著『出稼ぎの経済学』」『山形新聞』1974年9月28日号
- 「書評・菅野正・田原音和・細谷昂著『稲作農業の展開と村落構造—山形県西田川郡旧京田村林崎の事例—』」『山形新聞』1976年3月30日号
- 「書評・『山形県民俗・歴史論集』第一集」『山形新聞』1977年5月14日号
- 「書評・『伝統—その歴史と伝承—』」『広報 いいだて』第267号 飯館村役場広報委員会 1977年9月
- 「書評・大島清・山下惣一著『それでも農民は生きる』」『エコノミスト』毎日新聞社 1988年10月11日号
- 「書評・『山形史学研究』第13・14合併号(工藤定雄教授定年退官記念号)」『山形新聞』1978年5月25日号
- 「書評・八木繁樹著『新編・報徳読本』」『エコノミスト』毎日新聞社 1978年10月18日号
- 「書評・中村吉治著『家の歴史』」『出版ダイジェスト』第912号 梓会出版ダイジェスト社

1978年11月

「共同体論への視座—『社会学叢書』（御茶の水書房）によせて—」『図書新聞』 1979年1月13日号

「書評・庄司吉之助著『近代地方民衆運動史』」『週刊読書人』 1979年1月22日号

「書評・大川健嗣著『戦後日本資本主義と農業』」『山形新聞』 1979年3月5日号

「書評・茶屋十六著『安家村俊作—三閉伊一揆の民衆像—』」『山形新聞』 1980年9月8日号

「書評・堀三千著『父との散歩』」『本と批判』 第71号 日本エディタースクール出版局 1980年9月

「書評・『桜田勝徳著作集』 1『漁村民俗誌』」『歴史公論』 第6巻第10号 1980年10月

「書評・松村好之著『逆境に耳ひらき』」『山形新聞』 1981年7月20日号

「書評・田中庄一著『南部うるし』」『歴史公論』 第8巻第3号 1982年3月

「書評・川本彰著『日本人と集団主義—土地と血—』」『週刊読書人』 1982年6月28日号

「書評・田中浩著『近代日本におけるジャーナリズムの政治的機能』」『山形新聞』 夕刊 1982年9月1日号

「書評・岩崎敏夫著『東北民間信仰の研究』 上』」『山形新聞』 1982年10月4日号

「書評・山下文雄著『哀史三陸大津波』」『日本読書新聞』 1982年11月1日号

「書評・高桑守史著『漁村民俗論の課題』」『週刊読書人』 1983年4月18日号

「書評・岩崎敏夫著『東北民間信仰の研究』 下』」『山形新聞』 1983年6月6日号

「書評・小林茂著『日本屎尿問題源流考』」『日本読書新聞』 1984年4月16日号

「書評・菅野正・田原音和・細谷昂著『東北農民の思想と行動』」『山形新聞』 夕刊 1984年6月15日号

「書評・橋本鉄男著『琵琶湖の民俗誌』」『日本読書新聞』 1984年7月9日号

「書評・D・スチュアート著・福鎌忠恕訳『アダム・スミスの生涯と著作』」『山形新聞』 1984年8月13日号

「書評・鳥越皓之・嘉田由紀子編『水と人の環境史—琵琶湖報告書—』」『エコノミスト』 毎日新聞社 1985年1月29日号

「書評・『シンポジウム・東北文化と日本』」『山形新聞』 夕刊 1985年1月30日号

「書評・成松佐恵子著『近世東北農村の人びと—奥州安積郡下守屋村—』」『週刊読書人』 1985年4月15日号

「書評・大場正巳著『本間家の俵田渡口米制の実証分析—地代形態の推転—』」『山形新聞』 夕刊 1985年4月24日号

「書評・大沼保昭著『東京裁判から戦後責任の思想へ』」『山形新聞』 夕刊 1985年7月4日号

「書評・岡谷公二著『貴族院書記官長柳田國男』」『週刊読書人』 1985年9月23日号

「書評・高田宏著『雪日本心日本』」『中央公論』 第101巻第1号 中央公論社 1986年1月

「書評・大石嘉一郎編『近代日本における地主経営の展開』」『日本歴史』 第453号 吉川弘文館

1986年2月

「書評・谷川健一著『白鳥伝説』』『週刊読書人』 1986年3月31日号

「書評・川田稔著『柳田國男の思想史的研究』』『土地制度史学』第111号 農林統計協会 1986年4月

「書評・斎藤博著『地域社会史の誕生』』『エコノミスト』 毎日新聞社 1986年11月4日号

「書評・菅野健吉著『上山農民組合史』』『山形新聞』夕刊 1987年7月23日号

「書評・網野善彦・谷川道雄著『交感する中世—日本と中国—』網野善彦・川村湊著『列島と半島の社会史—新しい歴史像を求めて—』』『週刊読書人』 1988年10月24日号

「書評・中央大学人文科学研究所編『民衆文化の構成と展開—遠野物語から民衆的イベントへ—』』『中央評論』41-2 中央大学 1989年6月

“Book Review, *Native Sources of Japanese Industrialization, 1750-1920* by Thomas C.Smith.”

Journal of Japanese Studies, Vol.16 No.2. University of Washington, Summer 1990.

「書評・川田稔著『柳田國男の思想史研究』』『日本歴史』第496号 吉川弘文館 1989年9月

「書評・後藤明他著『歴史における自然』』『歴史学研究』610 青木書店 1990年9月

「書評・坂本進一郎著『米盗り物語—「モデル農村」に見る日本型ムラ意識の構造—』農林水産省図書館編『農林水産図書館資料月報』42-5 農林統計協会 1991年5月

「書評・東条由紀彦著『製糸同盟の女工登録制度』』『日本史研究』348 日本史研究会 1991年8月

「書評・福田アジオ著『柳田國男の民俗学』』『週刊読書人』 1992年5月18日号

「書評・細谷昂・中島信博・小林一穂・秋葉節夫・伊藤勇著『農民生活における個と集団』』『河北新報』 1993年5月16日号

「書評・川田稔著『柳田國男—「固有信仰」の世界—』』『歴史学研究』647 1993年7月

「書評・中村靖彦著『コメ開放—どう変わるか日本農業—』』『沖繩タイムス』夕刊 1994年3月22日号

「書評・赤坂憲雄著『遠野／物語考』』『山形新聞』夕刊 1994年4月14日号

「書評・祖田修・大原興太郎著『現代日本の農業観—その現実と展望—』』『エコノミスト』 毎日新聞社 1995年3月14日号

「書評・長谷部弘著『市場経済の形成と地域—十八、十九世紀の福島信達地方の製糸業—』』『社会経済史学』61-1 有斐閣 1995年5月

「書評・北原淳著『共同体の思想—村落開発理論の比較社会学—』』『農業と経済』62-11 富民協会 1996年10月

「書評・新庄市史編纂室編『新庄市史』第4巻・近現代（上）』『山形新聞』夕刊 1996年11月12日号

「書評・石内徹編『柳田國男「遠野物語」作品論集成』全四巻』『折口信夫研究会報』第31号 折口信夫研究会 1997年6月

- 「書評・藤井隆至著『柳田國男・経世済民の学—経済・倫理・教育—』『社会経済史学』63-5
1998年1月
- 「書評・藤井勝著『家と同族の歴史社会学』『村落社会研究』第8号 農山漁村文化協会 1998
年3月
- 「書評・綱澤満昭著『柳田國男讃歌への疑念—日本の近代知を問う—』『図書新聞』1998年6
月20日号
- 「内容紹介『近代日本産業史・経営史・府県統計書集成』『東北学院時報』第574号 学校法人
東北学院 1990年7月
- 「書評・高橋美貴著『近世漁業社会史の研究—近代前期漁業政策の展開と成り立ち—』『社会経
済史学』65-2 1999年7月
- 「書評・佐藤次高・岸本美緒著『市場の地域史』『市場史研究』19 そしえて 1999年11月
- 「書評・菅豊著『修験がつくる民俗史—鮭をめぐる儀礼と信仰—』『日本民俗学』第225号 日本
民俗学会 2001年2月
- 「書評・高橋基泰著『村の相伝（近代英国編）—親族構造・相続慣行・世代継承—』『村落社会
研究』第15号 農山漁村文化協会 2001年9月
- 「書評・菊池暁著『柳田國男と民俗学の近代—奥能登のアエノコトの二十世紀—』『図書新聞』
2002年1月26日号
- 「書評・福田アジオ編『北小浦の民俗—柳田國男の世界を歩く—』『図書新聞』2003年1月25
日号
- 「書評・桜井徳太郎『私説柳田國男』『図書新聞』2003年10月11日号
- 「書評・綱澤満昭『農の思想と日本近代』『図書新聞』2004年11月27日号
- 「書評・秀村選三著『幕末期薩摩藩の農業と社会』—大隈国高山郷土守屋家をめぐって—『創文』
475号 創文社 2005年5月
- 「書評・鳥越皓之著『柳田国男のフィロソフィー』『村落社会研究』第24号 農山漁村文化協会
2006年3月
- 「書評・伊藤幹治著『日本人の人類学的自画像—柳田国男と日本文化論再考—』『図書新聞』
2006年10月21日号
- 「書評・安藤清一・高嶋雅明・天野雅敏編『近世近代の歴史と社会』『社会経済史学』76-3
2010年11月

八 事典執筆項目

- 「かんごくべや 監獄部屋」『社会科学大事典』第4巻 鹿島出版会 1968年10月
- 「くるめがすり 久留米餅」『社会科学大事典』第5巻 鹿島出版会 1968年12月
- 「こうじゅんしゃ 交詢社」『社会科学大事典』第7巻 鹿島出版会 1969年4月

「しお 塩」「しぞく 士族」「しぞくじゅさん 士族授産」『社会科学大事典』第8巻 鹿島出版会 1969年6月

「たわらもの 俵物」『社会科学大事典』第12巻 鹿島出版会 1970年2月

「とうじ 杜氏」『社会科学大事典』第13巻 鹿島出版会 1970年4月

「なやせいど 納屋制度」「にしまわりこうろ 西廻航路」『社会科学大事典』第14巻 鹿島出版会 1970年6月

「ひがしまわりこうろ 東廻航路」『社会科学大事典』第15巻 鹿島出版会 1970年8月

「まびき 間引」「みょうじたいとう 苗字帯刀」『社会科学大事典』第17巻 鹿島出版会 1970年12月

「わっぱそうどう わっぱ騒動」『社会科学大事典』第19巻 鹿島出版会 1971年4月

「いち 市」「しおつくり 塩つくり」「むら 村」「やごう 屋号」「ゆい 結」「わたし 渡し」『福島県百科事典』福島民報社 1980年11月

「いりあいけん 入会権」「ちょうそんがっぺいふんそう 町村合併紛争」「マーク・ゲイン Mark Gain」『山形県大百科辞典』山形放送 1983年6月

「おうしゅうどうちゅう 奥州道中」『世界歴史大事典（レトリカ）』第3巻 教育出版センター 1986年1月

「しょくさんこうぎょう 殖産興業」『世界歴史大事典（レトリカ）』第10巻 教育出版センター 1986年1月

「ふうど 風土」『世界歴史大事典（レトリカ）』第16巻 教育出版センター 1986年1月

「やなぎたくにお 柳田國男」『世界歴史大事典（レトリカ）』第19巻 教育出版センター 1986年1月

「橋孝三郎 たちばなこうざぶろう」『国史大辞典』第9巻 吉川弘文館 1988年9月

「長野 朗 ながのあきら」『国史大辞典』第10巻 吉川弘文館 1988年9月

「中村吉治 なかむらきちじ」『現代日本朝日人物事典』朝日新聞社 1990年12月

「鮭 さけ」『日本史大事典』第3巻 平凡社 1993年5月

「相馬市 そうまし」『日本歴史地名体系』第7巻「福島県の地名」平凡社 1993年6月

「中村吉治 なかむらきちじ」「七色 なないろ」『日本史大事典』第5巻 平凡社 1993年11月

「佐藤卯兵衛」『朝日日本歴史人物辞典』朝日新聞社 1994年11月

「家意識」「家殺し」「親方取婚」「オヤコ」「出稼ぎ」「封建遺制」「家毀ち〔やこぼち〕」比較家族史学会編『事典家族』弘文堂 1996年2月

「小説に描かれた柳田國男」「植民地政策」「炭焼日記」「国際連盟」野村純一・三浦佑之・宮田登・吉川祐子編『柳田國男事典』勉誠出版 1998年7月

「おおしままさたか 大島正隆」「おのたけお 小野武夫」「おろしうり 卸売」「ききみみそうし 聴耳草紙」「ききん 飢饉」「ぎそう 義倉」「きょうさんそんらく 共産村落」「げんしきょうさんせい 原始共産制」「ささききぜん 佐々木喜善」「しょうぎょう 商業」「しょ

- うにん 商人」「そうば 相場」福田アジオ・新谷尚紀・湯川洋司・神田利子・中込睦子・渡辺欣雄編『日本民俗大辞典』上 吉川弘文館 1999年10月
- 「たむらひろし 田村浩」「とおのものがたり 遠野物語」「とんや 問屋」「なかがい 仲買」「れいがい 冷害」「わたくし 私」福田アジオ・新谷尚紀・湯川洋司・神田利子・中込睦子・渡辺欣雄編『日本民俗大辞典』下 吉川弘文館 2000年4月
- 「岩本由輝『柳田国男の共同体論』御茶の水書房 1978」「中村吉治『近世初期農政史研究』岩波書店 1970」「中村吉治『中世社会の研究』河出書房 1939」「中村吉治『日本の村落共同体』日本評論社 1957 (ジャパン・パブリッシャーズ, 1977)」「中村吉治『土一揆研究』校倉書房 1974」黒田日出男・加藤友康・保谷徹・加藤陽子編『日本史文献事典』弘文堂 2003年12月
- 「営林署 えいりんしょ」「雁木 がんぎ」「区画整理事業 くかくせいりじぎょう」「国勢調査 こくせいちょうさ」「鮭 さけ」「三業地さんぎょうち」歴史学会編『郷土史大辞典』上 朝倉書店 2005年6月
- 「農業基本法 のうぎょうきほんほう」「農業経営〔近代〕のうぎょうけいえい」「納税組合のうぜいくみあい」「農談会 のうだんかい」「農地委員会 のうちいいんかい」「農地改革のうちいかく」「圃場整備 ほじょうせいび」歴史学会編『郷土史大辞典』下 朝倉書店 2005年6月
- 「電気化学 electro-chemistry」「東北水力発電」天沢退二郎・金子務・鈴木貞美編『宮澤賢治イーハトヴ事典』弘文堂 2010年12月

九 雑 纂

- 「単位制度への不満の持つ意味」『人文ニュース』第7号 山形大学人文学部 1969年9月
- 「近況」『経和会々報』第4号 経和会 1970年3月
- 「棒ダラの味」『河北新報』1973年1月16日号
- 「湯治場変身」『河北新報』1973年2月6日号
- 「伝統鑄物の苦悩」『河北新報』1973年2月27日号
- 「仏壇屋繁盛記」『河北新報』1973年3月20日号
- 「霞(かすみ)は食べる」『河北新報』1973年4月1日号
- 「山菜の季節」『河北新報』1973年5月1日号
- 「水利と藩領」『河北新報』1973年5月22日号
- 「紅花と清風」『河北新報』1973年6月12日号
- 「ヌカミソ海を渡る」『やまがた散歩』第14号 やまがた散歩社 1973年12月
- 「『奥様』のちから」『やまがた散歩』第31号 やまがた散歩社 1975年5月
- 「アメリカ人のお国自慢」『教養部だより』第11号 山形大学教養部 1975年9月

「偶感」『人文ニュース』第8巻第4号 山形大学人文学部 1977年2月
「わが青春のとき」『自治会ニュース』 人文学部自治会執行委員会 1977年4月
「今様浦島太郎の話」『トム・チャム・ゴロニタ』第5号 大野幼稚園さくら組 1977年6月
「就職開拓に赴いて」『人文ニュース』第9巻第3号 山形大学人文学部 1977年8月
「私の女性観」『大学祭・人文学部企画』 1977年11月
「三宝柑」『羽黒根』第9号 相馬市立大野小学校PTA 1977年12月
「オッチョコチョイの話」『羽黒根』第13号 相馬市立大野小学校PTA 1979年3月
「新しい諸君を迎えて」『明日へ向って翔べ、青春』 山形大学全学新歓実行委員会 1979年4月
「潮干狩の雑感」『中村一中PTA会報』 相馬市立中村第一中学校PTA教養委員会 1979年12月
「寝言・繰り言・世迷い言—歓迎のことばにかえて—」『人文ニュース』第12巻第1号 山形大学人文学部 1980年4月
「なぜ、の疑問をつねに持て」『81新たな創造への飛翔』 山形大学全学新歓実行委員会 1981年4月
「欲しい積極的気概一守りに強い長所踏まえ—」『読売新聞』山形版 1983年5月28日号
「外から見た相馬」『ミニコミ御茶の間』'83-4 松永商事株式会社 1983年10月
「実習校訪問印象記」『人文ニュース』第17巻第2号 山形大学人文学部 1985年10月
「角野憲夫さんをしのんで」『相馬郷土』第3号 相馬郷土研究会 1985年12月
「中村吉治先生のこと」『東京経和会報』第7号 東京経和会 1987年2月
「立つ鳥あとを濁したかも…」『人文ニュース』第19巻第3号 1988年3月
「人文学部を語る」『学園だより』第60号 山形大学 1988年4月
「ある『生涯学習』のかたち」『ウーラノス』第3号 東北学院大学設置50周年記念事業実施委員会 2000年2月
「嶋田隆さんを偲んで」『研究通信』第198号 日本村落社会研究学会 2000年5月
「『国際化』を实践して」『ウーラノス』第4号 東北学院大学設置50周年記念事業実施委員会 2000年6月
「社会人修士を送り出して」『ウーラノス』第7号 東北学院大学 2001年6月
「哀悼 和田文夫さん」『磐城民俗』第38号 磐城民俗研究会 2003年6月
「新進博士の誕生と活躍」『ウーラノス』第14号 東北学院大学広報編集委員会 2003年10月
「岩崎敏夫先生を偲ぶ」『東北民俗』第39輯 東北民俗の会 2005年6月

十 対談・対話・座談会・シンポジウムなど（活字化されているもののみ）

「むらの日本人—土地—」上・中・下（三沢賢吾との対談）『河北新報』 1973年2月7, 8, 9日号
「むらの日本人—カネ—」上・中・下（村越八郎との対談）『河北新報』 1973年2月16, 17, 18日号

日号

「シリーズ座談 地域史構成のための視座をもとめて①～③・『地域史』への発題から〈その1～3〉」(西垣晴次・樺山紘一との座談)『歴史公論』第5巻第10～12号 雄山閣 1979年8～12月

「シリーズ座談 地域史構成のための視座をもとめて④～⑦・地域史を『歴史』にする〈その1～4〉」(塚本学をゲストに西垣晴次・樺山紘一との座談)『歴史公論』第6巻第1～4号 雄山閣 1980年1～4月

「座談会・農業断層」上・下(栗野武夫・佐藤藤三郎との座談)『朝日新聞』山形版 1980年2月20, 21日号

「シリーズ座談 地域史構成のための視座をもとめて⑧～⑩・生活記録運動から水俣まで〈その1～3〉」(鶴見和子をゲストに西垣晴次・樺山紘一との座談)『歴史公論』第6巻第6～8号 雄山閣 1980年6～8月

「シリーズ座談 地域史構成のための視座をもとめて⑪～⑬・地理学と民俗学と地域史と〈その1～3〉」(千葉徳爾をゲストに西垣晴次・樺山紘一との座談)『歴史公論』第6巻第12号～第7巻第2号 1980年12月～1981年2月

「シリーズ座談 地域史構成のための視座をもとめて⑭～⑯・共同体論から封建論争まで〈その1～3〉」(中村吉治をゲストに西垣晴次・樺山紘一との座談)『歴史公論』第7巻第6～8号 雄山閣 1981年6月～8月

「シリーズ座談 地域史構成のための視座をもとめて⑰～⑱・社会構造はシステムじゃない〈その1～3〉」(中野卓をゲストに西垣晴次と樺山紘一との座談)『歴史公論』第8巻第8～10号 雄山閣 1982年8～10月

岩本由輝・樺山紘一・米山俊直共著『対話「東北」論』I 岩本由輝×樺山紘一 エッソ株式会社 1982年12月

「シンポジウム県都山形のきょう明日を考える」(伊藤善市をコーディネーとして佐藤和夫・福士昌寿とともにパネリストとして参加)『読売新聞』山形版 1983年5月22日, 29日号

岩本由輝・樺山紘一・米山俊直共著『対話「東北」論』I 岩本由輝×樺山紘一 福武書店 1984年1月

「特集座談会“国家権力史観”を穿つ列島地域史論—社会史研究の具体的前進のために—」(塚本学・網野善彦との座談)『日本読書新聞』 1984年3月5日号

「わが大学の著者と語る—『対話「東北」論』を読む—」(清野裕英との対談)『読書のいずみ』 22 全国大学生生活協同組合連合会 1985年3月

「どうなる日本の農業地帯座談会—いま山村の人びとは…」(乗本吉郎・原剛との座談)『月刊自治研』334号 自治研中央推進委員会事務局 1987年7月

「文化と産業—新東北の魅力おこしを考える—」(伊藤善市・東島末起との対談)東北地域産業おこし推進連絡会議編『発展する東北, '90地域産業おこしフェア報告書』 東北電力株式

会社 1990年12月

「第二国土軸専門委員会—第二国土軸形成にむけて—」(青山正彦・長谷川公一・渡辺和夫・渡辺良平と討論)『河北新報』1992年6月2日号

「第二国土軸専門委員会—『世界の中の東北』を語る—」(青山正彦・長谷川公一・渡辺和夫・渡辺良平と討論)『河北新報』1992年8月20日号

「第二国土軸専門委員会—地方分権と行政を語る—」(青山正彦・長谷川公一・渡辺和夫・渡辺良平と討論)『河北新報』1992年9月20日号

「第二国土軸専門委員会—『新しい生活圏』を語る—」(青山正彦・長谷川公一・渡辺和夫・渡辺良平と討論)『河北新報』1992年10月20日号

「第二国土軸専門委員会—人材育成と文化の創造—」(青山正彦・長谷川公一・渡辺和夫・渡辺良平と討論)『河北新報』1992年11月19日号

「第二国土軸専門委員会—高齢化社会の進展を語る—」(青山正彦・長谷川公一・渡辺和夫・渡辺良平と討論)『河北新報』1992年12月19日号

「第二国土軸専門委員会—第二国土軸推進の具体策—」(青山正彦・長谷川公一・渡辺和夫・渡辺良平と討論)『河北新報』1993年1月4日号

「第二国土軸専門委員会—人口減少社会の対応探る—」(青山正彦・長谷川公一・渡辺和夫・渡辺良平と討論)『河北新報』1993年1月28日号

「第二国土軸専門委員会—最終提言を終えて—」(青山正彦・長谷川公一・渡辺和夫・渡辺良平と討論)『河北新報』第三朝刊 1993年4月1日号

「紙上対談 新幹線開業—東北の戦後50年・その光と影—」(笹森正との対談)『毎日新聞』1994年5月26日号

「仙台のごみ・し尿・下水処理の歴史を語る」(野池達也・須藤隆・堀江正一・佐藤孝好との座談)『市史せんだい』第5号 仙台市 1995年7月

「青葉山県有地&東北大片平キャンパス—大学移転とまちづくり座談会—」(伊藤弘昌・荒木喜美子・日向則子との座談)『河北新報』夕刊 1996年4月21日号

「思い出の秋保電鉄」(佐藤四郎・菅原勝行・早坂淳・鶴飼幸子・相原陽三との座談)『市史せんだい』第7号 仙台市 1997年7月

「ヒトの移動と社会史」(國方弘司と長谷部弘との座談)岩本由輝教授還暦記念論集編集委員会編『「ヒト」と移動の社会史』刀水書房 1998年6月

「ヒトの移動と社会史」(國方弘司と長谷部弘との座談)「ヒト」の移動の社会史編集委員会編『「ヒト」移動の社会史』刀水書房 1998年6月

高田宏編『対話「東北」論』I 岩本由輝×樺山紘一 刀水書房 2003年8月

「仙台の燃料事情いまむかし」(飯泉茂・石田琢二・伊藤民雄・大柳雄彦・越路守・鶴飼幸子との座談)『市史せんだい』第12号 仙台市博物館 2002年7月

「座談会 タイは今?—『タイ国』の著者を囲んで—」(パースック・ボンバイチット／クリス・

ベーカー／野崎明／サイモン・ジェームス・バイスウェイとの座談)『刀水』No.10 刀水書房 2007年5月

「シンポジウム 北上川舟運を通してみる鉄道開通以前の物流体系」(仁昌寺正一を司会に守屋嘉美・内城弘隆・邊見清二とともにパネリストとして参加)『東北学院大学産業経済研究所紀要』第27号 東北学院大学東北産業経済研究所 2008年2月

「山本明先生追悼座談会」(八牧喜子・石橋康三・山崎秀夫・木幡テイ・大迫徳行・大迫富子・二本松文雄との座談)『磐城民俗』第36号, 2011年9月

十一 学会報告(1988年以前における東北経済学会などでの報告は資料がなく省略した)

「近世漁村の共同体の変遷—盛岡藩津軽石川における鮭留漁の漁業権をめぐる—」村落社会研究会第12回大会 主催 慶応義塾大学 会場 神奈川県足柄下郡箱根町文部省共済組合強羅静雲荘 1964年9月23～24日

「『今井邸系図』にみる近世農民の家」村落社会研究会第18回大会 主催 東北大学・山形大学 会場 山形県天童市新庄館 1970年10月28～29日

「近代日本における都市と農村—戦前日本資本主義の農村把握のしくみ—」村落社会研究会第21回大会 主催 愛知大学 会場 三重県志摩郡浜島町合歓の郷 1978年10月30～31日

「農民運動の基盤について—山形県農民運動史の事例から—」村落社会研究会第26回大会 主催 山梨大学 会場 山梨県南都留郡河口湖町地方職員共済組合保養所富士桜荘 1978年10月25～26日

「本源的土地所有とムラの土地利用」村落社会研究会第34回大会 主催 島根大学 会場 島根県八束郡玉湯町玉造温泉ホテル玉泉 1986年11月20～21日

「労働組織としての家父長制家族—柳田國男と有賀喜左衛門におけるその把え方—」比較家族史学会第13回大会 主催 専修大学 会場 専修大学神田校舎 1988年6月18～19日

「秋田県大潟村の農業経営と村落」村落社会研究会第37回大会 主催 早稲田大学 会場 岐阜県大野郡白川村萩町公民館 1989年10月8～9日

「地方城下町と市の歴史」市場史研究会第15回大会 主催 東北学院大学 会場 山形県立図書館3階特別会議室 1991年5月8～9日

「占有と標識」東北経済学会第45回大会 主催 山形大学人文学部 会場 山形大学人文学部 1991年9月28日

‘On Village Study in Japan: The Village community in Historical Comparison’ The 1st International Seminar, “The Village Community in Historical Comparison” The Ayutthaya Historical Study Centre, December 25-26, 1992.

‘The Development of Exchange of Commodities and the Transformation of the Fishing Village Community’ The 2nd International Seminar “The Village Community in Historical

Comparison” The Ayutthaya Historical Study Centre, August 29-30,1993.

「仙台市における勤工場・公設市場・卸売市場」 市場史研究会第24回大会 主催 東北学院大学経済学部 会場 八戸地域地場産業振興センター 1995年10月15～16日

‘Village and Family for Kunio yanagita’, The 4th Tai-Japanese Seminar “History of Village Community in Japan”, Faculty of Economics, Chulalongkorn University, December 9-10,1995.

「問題提起・売り物になる酒, ならない酒」 市場史研究会第25回大会 主催 広島大学生物生産学部 会場 広島大学生物生産学部 1996年6月21～22日

「柳田國男のいわゆる市場問題について」 市場史研究会第26回大会 主催 追手門大学経済学部 会場 追手門大学経済学部 1996年10月12～13日

‘Kunio Yanagita and the issue of the market(1)’ The 5th Japan Thai Seminar, “The Village Community in Historical Comparison” at The Ideha Bunka Kinenkan, August 29-31,1997.

「日本農民の家と産業発展—国際比較の観点から—」 シンポジウム『東アジア社会の構造と変動—伝統・変革・課題—』 主催 東北大学大学院情報科学研究科 会場 東北大学青葉記念館 1997年9月6～7日

「市場を通じてみたアジアのなかの沖縄—問題提起—」 市場史研究会第29回大会 主催 琉球大学農学部 会場 琉球大学農学部 1998年5月9～10日

「陸奥中村藩における新百姓取立政策—浄土真宗信徒移民の導入—」 東北経済学会第53回大会 主催 岩手県立大学総合政策学部 会場 岩手県立大学総合政策学部 1999年9月18日

「陸奥中村藩における新百姓取立政策と浄土真宗信徒移民の導入—近世のムラの本質を探る—」 日本村落社会研究学会第47回大会 主催 東洋大学社会学部 会場 東洋大学白山キャンパス 1999年10月16～17日

「天明の飢饉による移住政策と農民家族—陸奥中村藩の本願寺門徒移民の例—」 比較家族史学会第36回大会 主催 九州大学大学院法学研究科 会場 九州大学国際ホール 1999年10月23～24日

「問題提起—公設市場の形成と展開—」 市場史研究会第32回大会 主催 名古屋学院大学経済学部 会場 名古屋市国際会議場 1999年10月30日

‘Kunio Yanagita and Issue of Marcket(2)’ The 6th Japan Thai Seminar “The Village Community in Historical Comparsion” at SASA Hall, Chulalongkon University, December 17-18,1999.

‘The Fomation and Transition Tohoku Region in Japan’ International Seminar to Mark the 50th Anniversary of Tohoku Gakuin’s Inauguration from a College to a University-Historical and Analytical Studies on Peripheratization in the Asian Region;the Case of Korea, Thailand and Japan-at 2nd Conference Room, Tsuchitoi Campus, Tohoku Gakuin University, June 3-4,2000.

「近世後期陸奥中村藩における新百姓の受容—中郷萱浜村の事例から—」 日本村落社会研究学

- 会第48回大会 主催 愛媛大学農学部 会場 愛媛県宇和郡明浜町中央公民館 2000年11月7～10日
- 「前近代における鉄と相馬—生産された鉄と移入された鉄—」 市場史研究会第35回大会 主催 東北大学大学院経済学研究科 会場 東北大学大学院経済学研究科会議室 2001年6月30日～7月1日
- 「基調講演・一国民俗学としての日本民俗学—柳田国男のアジアとのかかわりを通じて—」(国際学術シンポジウム・変動期における東アジアの社会と文化) 主催 中国天津市 南開大学日本研究センター・東アジア比較文化国際会議 会場 南開大学日本研究センター・翔宇ホール 2001年9月7～10日
- 'Approaches to village studies in Japan with special references to Tohoku region Seminar on a history of the village economy of Southern Isan in comparative perspective', January 1-6, 2002, Rajabhat Institute, Surin, Thailand (organized by the research project on the Thai village economy, Chulalongkon University, in cooperation with Rajabhat Institute, Surin)
- 「『遠野物語』の山人と贋銭製造」 比較家族史学会第21回研究大会 主催 東北学院大学 会場 遠野市立博物館 2002年5月24～25日
- 「大島高任の洋式高炉建設と『遠野物語』の山人」 日本村落研究学会第50周年記念大会 主催 東北学院大学 会場 遠野市立博物館 2002年10月11～13日
- 'Japanese Folklore Studies as the National Ethnology: Through Kunio Yanagita's connection to Asia' The 8th Japanese-Thai Seminar December 9-15, 2002 Chiang, Mai, Thailand and Luang- prabang, Laos
- 「那覇中央卸売市場の成立にいたるまで—水産部門の脱落をめぐって—」 市場史研究会第39回大会 主催：長野経済短期大学 会場：長野経済短期大学第512号室 2003年6月14～15日
- 'Yamada Nagamasa and his relationship with Siam', The 9th Thai-Japanese Seminar, December 13-16, 2004, Ryukyu University.
- 「家存続戦略としての婿養子—大名家臣団を事例に—」 比較家族史学会第27回研究大会 主催：山形大学 会場：山形大学 2005年5月
- 「幕末期造船市場と陸奥中村藩における御趣意船の建造」 市場史研究会第43回大会 主催：東北学院大学 会場：マリングート塩釜 2005年6月10～11日
- 「飛脚情報と地方商人」 市場史研究会第44回大会 主催：関西学院大学 会場：関西学院大学梅田サテライトキャンパス 2005年11月26日
- 「コメンテーター・日本近現代史の立場から」 シンポジウム：『アジア世界における大英帝国と大日本帝国』 主催：東北学院大学ヨーロッパ文化研究所 共催：社会経済史学会東北部会 会場：東北学院大学押川記念ホール 2005年12月15日
- 「近代墓地法制の施行と墓地慣行との軋轢—現仙台市域を中心に—」 日本村落研究学会第55回大会 主催：鹿児島大学 会場：鹿児島県肝属郡南大隈町中央公民館 2007年11月30日～

12月2日

'Thai-Japanese Diplomacy in the Documents of the Tokugawa Period' The 10th Japan-Thai Seminar at Hotel Grand Tower Inn, Bangkok, Thailand, Cec. 2008 (タイ国情不安のため中止, 発表原稿のみ提出)

「三越仙台支店進出反対運動と全日本専門店会聯盟(日専聯)の成立」市場史研究会第51回大会 主催: 東北学院大学, 会場: 石巻商工会議所会議室 2009年6月6, 7日

'Japan/Siam Relations, 1599-1745: As Revealed By The Diplomatic Records of The Tokugawa Shogunate', 21st International Conference of the International Association of Historians of Asia (IAHA), River View Hotel, Singapore, Republic of Singapore, 24-26 June 2010

「一大名側室の一生とその実兄の藩士取立一家存続戦略研究の一環として」比較家族史学会 2010年度秋季研究大会 主催: 埼玉学園大学 会場: 埼玉学園大学 2010年11月13日

「宮沢賢治とマーケティング」市場史研究学会第54回大会 主催 富士大学 会場 富士大学 2011年6月4日～5日

「400年目の地震・津波と東京電力福島第一原発の問題」宮城歴史科学研究会2011年度大会, 主催: 東北学院大学 会場: 東北大学大学院文学研究科川内南キャンパス研究棟, 2011年9月17日

「400年目の烈震・津波と東京電力福島第一原発の事故」日本村落研究学会第59回大会, 主催: 熊本大学 会場: 熊本県阿蘇郡小国町木魂館および旧北里小学校体育館 2011年10月28日～30日